

### III. 圏域住民のアンケート結果

#### 1. アンケート実施概要

##### (1) 調査の目的

松山圏域に居住する住民の日常生活における行動範囲や圏域のイメージ、行政の取組に対するニーズなどを把握し、「第2期まつやま圏域未来共創ビジョン」策定の参考とする。

##### (2) 調査対象

松山圏域の市町に居住する20歳から79歳までの住民2,000人を対象とした。

なお、市町別の内訳は、松山市居住者500人、その他の市町居住者各300人とした。

##### (3) 調査方法

郵送により調査票の配布・回収を行った。また、調査票にQRコードを記載し、WEBからの回答も可能とした。

##### (4) 調査時期

令和2（2020）年7月28日（火）～8月12日（水）

##### (5) 回収率など

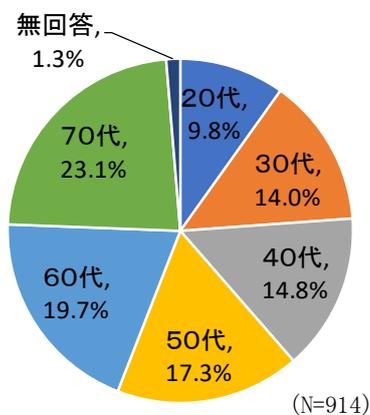
発送数	有効回収数	有効回収率
2,000票	914票（うち、WEB回答48件）	45.7%（WEB回答率5.3%）

##### (6) 回答者の年齢及び居住地

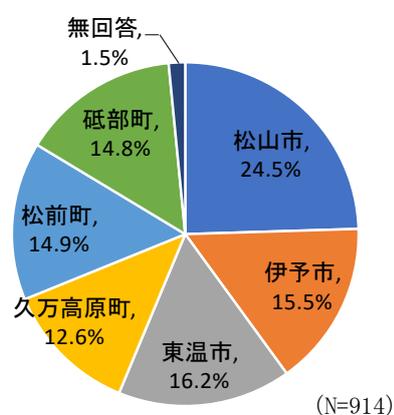
回答者の年齢は、70代が最も多く、4割以上が60歳以上の高齢者であった。居住地は、松山市が最も多く、東温市、伊予市、松前町、砥部町、久万高原町と続く。

なお、WEB回答者は20代・30代の回答が多かった。

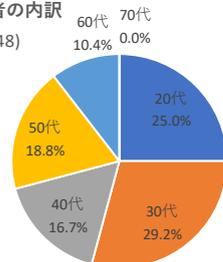
【年齢】



【居住地】



WEB回答者の内訳 (N=48)



## 2. アンケート結果（抜粋）

### 行動特性

コンサート・演劇鑑賞は、松山市に大きく依存している。  
 食品・日用品以外の買い物は、松前町が圏域他市町からも利用されている。  
 アウトドア・レジャーは、圏域外の愛媛県内に依存している。

日常生活における活動について、その活動のために比較的よく行く地域を聞いたところ、コンサート・演劇鑑賞は、すべての市町が9割前後の高い割合で松山市に依存している。

また、買い物について、食品・日用品は、伊予市が松前町（4割）、東温市が砥部町（3割近く）、砥部町が久万高原町（3割）からも利用されている。食品・日用品以外は、松前町が、伊予市から8割近く、松山市（3割）、東温市（2割）、砥部町（4割）からも利用されている。

一方、アウトドア・レジャーは、久万高原町が砥部町（3割）、松山市（2割）から利用されているが、特に伊予市、松前町、砥部町ではその他の愛媛県内に依存している。

### 【各地域で最も多く利用されている活動の居住地別集計】

各地域で、最も多くの人利用している活動が、どこからどのくらいの人を集めているかを示す。

利用地域	最も多く挙げられた活動	居住地ごとの依存度					
		松山市	伊予市	東温市	久万高原町	松前町	砥部町
松山市	コンサート・演劇鑑賞	<b>95.4%</b> (n=152)	<b>90.1%</b> (n=91)	<b>87.1%</b> (n=93)	<b>86.1%</b> (n=72)	<b>92.4%</b> (n=92)	<b>87.0%</b> (n=92)
伊予市	買い物（食品・日用品）	6.7% (n=224)	<b>98.5%</b> (n=136)	4.9% (n=144)	4.5% (n=110)	44.4% (n=133)	8.1% (n=135)
東温市	買い物（食品・日用品）	15.2% (n=224)	1.5% (n=136)	<b>97.2%</b> (n=144)	15.5% (n=110)	3.0% (n=133)	30.4% (n=135)
久万高原町	アウトドア・レジャー	19.4% (n=155)	15.7% (n=89)	14.4% (n=97)	<b>53.0%</b> (n=66)	20.0% (n=90)	28.6% (n=91)
松前町	買い物（食品・日用品以外）	31.5% (n=219)	<b>77.4%</b> (n=137)	21.4% (n=145)	20.0% (n=110)	<b>87.9%</b> (n=132)	39.1% (n=133)
砥部町	買い物（食品・日用品）	4.5% (n=224)	6.6% (n=136)	4.2% (n=144)	31.8% (n=110)	5.3% (n=133)	<b>94.8%</b> (n=135)
その他の愛媛県内	アウトドア・レジャー	36.1% (n=155)	<b>43.8%</b> (n=89)	33.0% (n=97)	27.3% (n=66)	<b>46.7%</b> (n=90)	<b>37.4%</b> (n=91)
愛媛県外	アウトドア・レジャー	25.2% (n=155)	21.3% (n=89)	25.8% (n=97)	21.2% (n=66)	34.4% (n=90)	24.2% (n=91)

※日常生活における活動について、その活動のために比較的よく行く地域を3つまで回答

※それぞれの地域において、最も多く挙げられた活動について、居住地別に整理

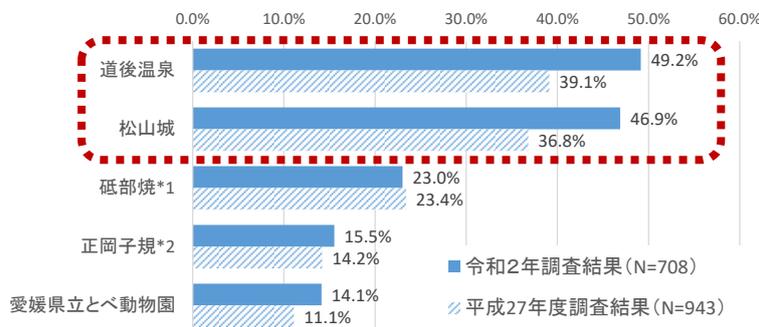
※**太字**は当該居住地で1番目に、赤い網掛けは当該居住地で3番目までに多いもの（**太線囲み**は自市町内）

※表中のnの値は、無回答を除いた回答数を示している。

## 松山圏域の自慢できる特徴

特に道後温泉、松山城は、第1期のアンケートから約10ポイント伸びており、圏域として誇らしいものの象徴として定着している。

### 【自慢できる特徴】

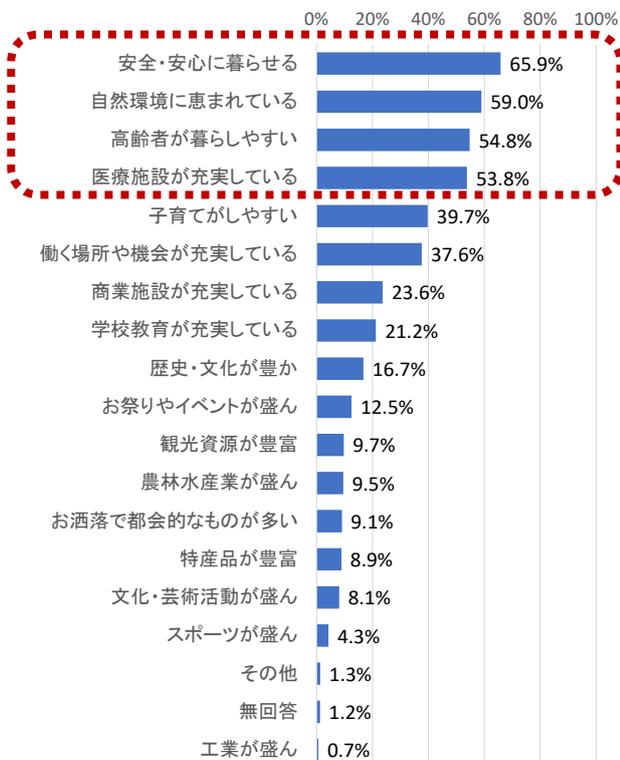


※松山圏域で、圏域外に自慢できるような特徴（名勝旧跡、施設、イベント・祭り、名物・特産品、自然・地勢・風土、偉人・有名人など）で、思いつくものを最大5つまで自由記述  
 ※類似項目をまとめて、上位5位までをグラフ化している。

## 松山圏域に望む将来の姿とふさわしい将来のイメージ

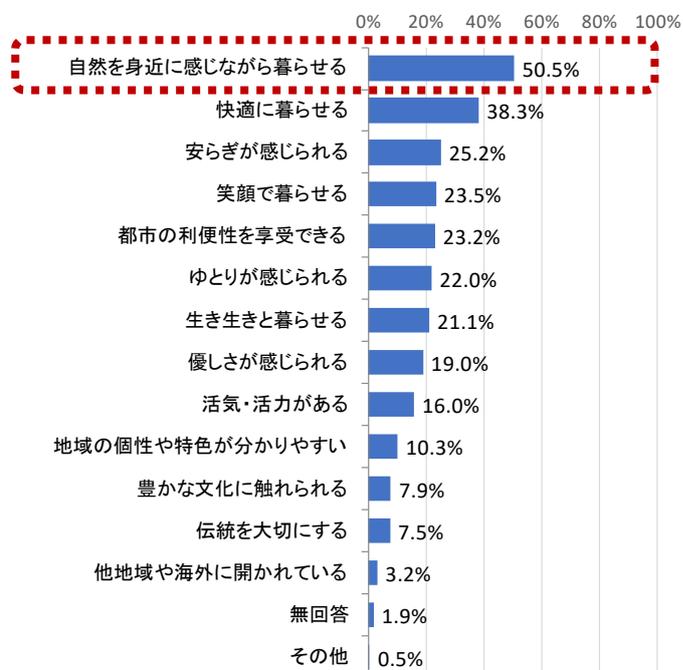
松山圏域の将来の姿では、安全・安心に暮らせる、自然環境に恵まれている、高齢者が暮らしやすい、医療施設が充実していることが望まれている。  
 松山圏域の将来のイメージは、自然を身近に感じながら暮らせることがふさわしいと思われる。

### 【望む姿】



(N=914)

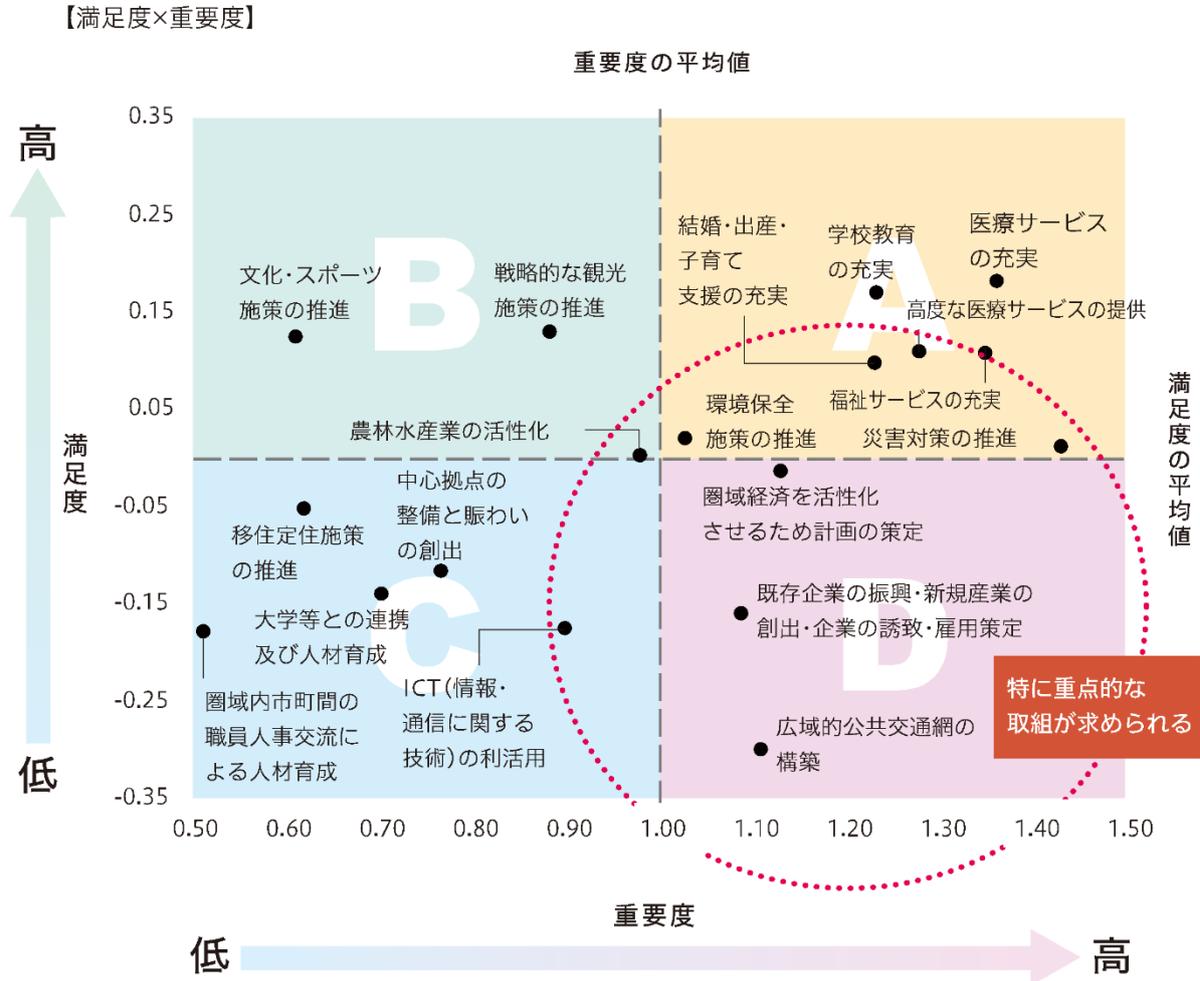
### 【イメージ】



(N=914)

## 圏域内での取組の評価

医療・福祉サービス、教育・子育て環境、環境施策、災害対策は、重要度が高く一定の満足度がある。  
 圏域経済成長の計画策定、産業振興、広域交通網は、重要度は高いが満足度が低い。



※満足度・重要度、それぞれの平均値をもとにA～Dの4つの領域に区分

満足度・重要度の平均値＝各取組の評価点（加重平均）＊÷取組数

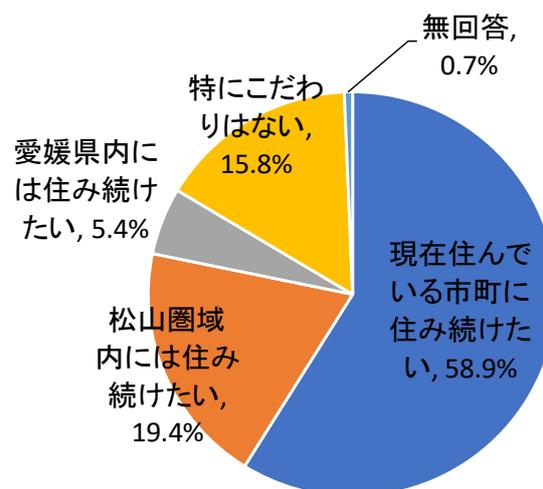
\*各取組の評価点＝各選択肢の点数（加点表参照）×各選択肢の回答数÷全回答数

加点表

各選択肢の内容	非常に満足 非常に重要	やや満足 やや重要	どちらとも いえない	あまり満足していない あまり重要でない	全く満足していない 全く重要でない
加点	+2	+1	0	-1	-2

## 圏域内での定住意向

8割近くの人が松山圏域に住み続けたいとの意向をもっている。



### 3. まとめ

松山圏域において日常的な活動は、回答者が居住している市町内を中心に行われる傾向にある。一方、コンサートなどの大規模イベントへの参加や医療をはじめとした高度な生活サービスは、拠点性を持つ松山市で行われており、松山圏域内で住み続けたいと思える生活ができるところが松山圏域全体の魅力であり、それは圏域の3市3町がお互いのリソースで補完しあう中で保たれている。

また、松山圏域の将来像では、安全・安心で、子育て・福祉・医療の充実した、自然豊かな暮らしを望む声が多く、現在も高い水準にある圏域内での定住意向を維持・向上していくためには、産業振興をはじめ、ICTの利活用や災害対策、防災体制の充実、更なる子育て環境の充実などを重点的に取り組むことが求められている。

## IV. 圏域の将来像

### 1. 圏域の将来像

#### 松山圏域の将来像

～四国カルストから道後、瀬戸内へ～

やま・まち・うみ・ひと、暮らし彩るみんなの松山圏

松山圏域は、都市機能がコンパクトに集約された道後平野部の各市街地をはじめ、豊かな自然が残る四国カルストと森林が広がる山間部、瀬戸内の島しょ部など、多種多様な地域特性があり、お遍路で培われた「おもてなし」に代表される人の温かさ、自然災害の少なさ、物価の安さなどの特徴がみられる。行政サービスについても、他圏域と比較して子育て支援サービスや高齢者福祉サービス、医療体制なども充実しているほか、比較的通勤時間が短く、平均家賃なども低いことから、定住意向が高く、全般的に暮らしやすい地域であるといえる。

そして、住民にとっては、山や海などの豊かな自然を身近に感じられるとともに、安全・安心で充実した民間と行政による財・サービスが提供されるまちであり、家族はもちろん、仕事や余暇、コミュニティ活動などをともにする様々な仲間たちに囲まれ、ファスト&スローライフ（効率やスピード、利便性を重視する生活とゆっくりとしたゆとりある生活の両方を使い分けて楽しむ生活）を享受できるなど、多彩な暮らしを送ることが可能である。

圏域住民アンケートによる圏域に望む将来の姿においても、「安全・安心に暮らせる」、「自然環境に恵まれている」と回答する住民が多く、現在の圏域環境を維持していくことが求められていると考えられる。

松山圏域の人口は減少局面に入っており、このままでは従来のようなフルセット型の行政のあり方が徐々に通用しなくなる懸念がある。この圏域が未来に向かって持続していくためにも、スケールメリットを生かした効率的な行政運営を模索しつつ、圏域住民の一体感を醸成し、連携により互いに補完しあうことで、圏域全体の魅力を向上させることを目指すべきと考える。

その実現により、住民の幸福感や満足度の向上のほか、圏域外の人にとっての魅力を向上させることになり、結果として圏域の人口減少の歯止めに繋がる。

平成28（2016）年度には第1期ビジョンを策定し、これまでに圏域市町が連携し、様々な取組を進めてきたが、今後も圏域市町が力を合わせ、圏域住民が求めるまちを創っていくことが不可欠である。

これらの状況を踏まえ、第1期に引き続き、圏域の将来像を上記のとおりとする。

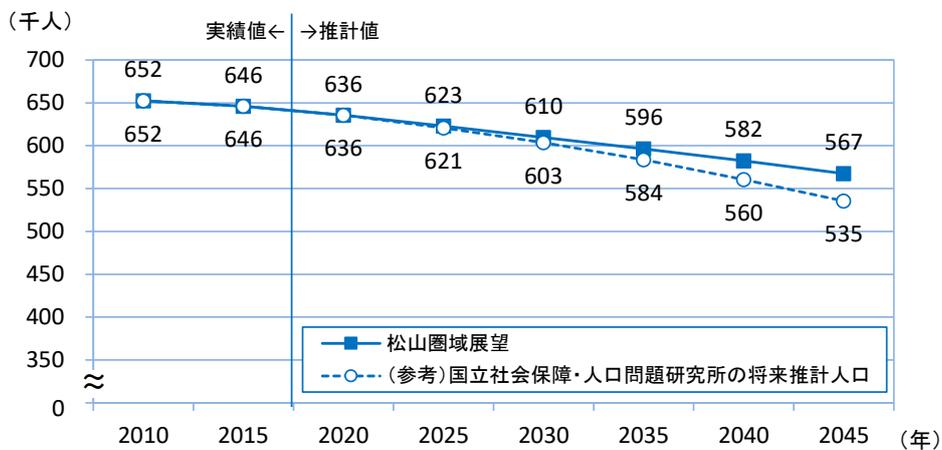
## 2. 人口などの将来展望

第2期愛媛県版まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和2（2020）年3月策定）において、松山圏域（中予地方）は、「人、モノ、情報を駆使して広域的な牽引力を発揮する高機能圏域の形成を目指す」と位置付けられており、また、圏域市町の人口ビジョン・総合戦略においても、それぞれの市町で人口減少対策に力を注ぐこととしている。

そこで、各市町における人口の自然減の抑制はもちろん、圏域全体として、人口流出を食い止めるダム機能を果たすとともに、全国から移住・定住先として選ばれる地域を目指すものとし、以下のとおり、圏域内の各市町が展望する将来人口や年齢別人口（構成比）の合算を松山圏域の将来展望とする。

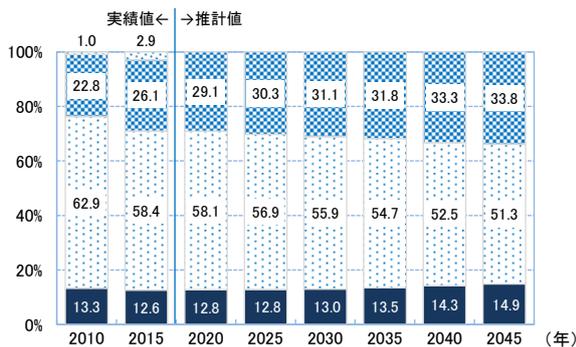
図表IV-1 松山圏域における人口将来展望と年齢3区分別構成比

### 【人口将来展望】

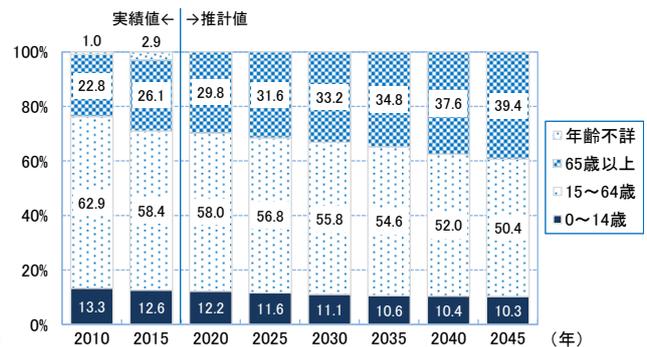


### 【年齢3区分別構成比】

#### [松山圏域展望]



#### [(参考) 国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口]



(資料) 総務省「国勢調査」、各市町人口ビジョン

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」

### 3. 圏域づくりの基本方針

圏域の将来像及び人口の将来展望を見据え、また、第1期ビジョンでの成果を継続するために、「圏域全体の経済成長のけん引」、「高次の都市機能の集積・強化」、「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」の3分野における圏域づくりの基本方針を以下のとおりとする。

#### (1) 圏域全体の経済成長のけん引

- 第1期ビジョンでは、圏域市町合同での商談会の開催やクリエイターと事業者のマッチングなど、具体的な動きを作ることはできたが、様々な特徴のある圏域全体としての戦略を策定するまでには至っていない。
- 圏域住民アンケートで、重要度は高いが、満足度の低い取組として「企業の振興等」が挙げられている。第1期ビジョンでの取組を継続するとともに、各市町の産業構造や地域資源、事業環境の特長などを生かし、連携させることで、多様な就業環境の整備や全産業における生産性の向上を図ることが必要とされる。
- 近年、ICTの産業分野への活用が進んでおり、愛媛県下の愛南町では水産業への導入が進んでいる。松山圏域において重要な産業である農業・林業分野の高齢化や担い手不足を解消するためにICTの活用を研究・検討することが必要とされている。
- これまでインバウンド観光により拡大してきた日本の観光産業だが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、新しい生活様式の中での観光資源や地元の魅力に改めて目を向けるマイクロツーリズムが着目されつつある。松山圏域においても、国内旅行の旅先として選ばれるために、また外国人観光客が再び日本を訪れる際におもてなしができるよう、圏域の魅力的な観光資源を生かした戦略的な広域観光施策が求められている。



<基本方針>

#### ① 市町の特長を生かした一体的な産業振興と企業活動支援

松山圏域では、それぞれの市町が農林水産業、製造業、小売業、サービス業などに特長をもっており、それぞれで強みを生かした産業振興を行っているが、圏域での取組を通して、それぞれの強みが一体化することで、更なる付加価値の創出が期待できる。

そのため、各市町の特長を生かしつつ、関係主体が連携し、コロナ禍における都市部から地方への人の動きも注視しながら、圏域として一体的な産業振興や企業活動支援、PR活動、圏域の戦略の検討に取り組むことで、更なる経済成長に繋げる。

具体的な取組例：中小企業の振興

産学金官民で連携して商談会を開催し、販路拡大を図るなど、中小企業の振興を行う。

これまでは各市町それぞれで中小企業の売り込みなどを行ってきたが、圏域市町が一体となり、商談会などを開催・出店することによって、単独で行うよりも効果的に情報発信をすることができる。また、バイヤーにとっても、一度に多くの情報を得ることができるとともに、圏域を1つのパッケージとして考えてもらうことができる。

## ② 農林水産物のブランド化と6次産業化による販路拡大

松山圏域の強みの一つである農林水産業を軸に、農林水産物の更なるブランド力向上や6次産業化などの推進による地産地消の促進を行うことが、圏域外需要の掘り起こしにも繋がる。

そのため、共通する課題である有害鳥獣対策や高齢化・担い手不足を解決するためのICT活用の研究などに連携して取り組むとともに、市町の特産を生かした商品開発などに共同で取り組み、これらの産品・製品を圏域外にも強力にPRすることで、販路拡大や地産地消の普及に努める。

具体的な取組例：圏域が誇る農林水産物の消費拡大

圏域の各市町が連携し、官民連携による商品開発のほか、広報やPRなどを通じて農林水産物の消費拡大に向けた取組を推進する。

市町の農林水産物を活用した加工品を開発し、販売することによって、市町の特産品を知ってもらうきっかけとなる。また、民間企業にとっても、1つの市町のものだけではなく、圏域市町の多くのよいものに触れることができるため、開発意欲に繋がる。

販売においても、単独で行うよりも効果的に情報発信をすることができる。

## ③ 山・街・海をつなぐ広域観光の推進

松山圏域には、国内有数の観光名所である道後温泉のほか、歴史・文化を感じる名所、四国カルストから瀬戸内まで自然環境豊かな名所など、広範囲にわたって多様な観光資源が存在しており、それらをネットワーク化することで、より魅力的な観光を楽しんでもらうことができる。

そのため、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況や、マイクロツーリズム等の新たな旅行需要の動向を注視しながら、圏域内周遊のための二次交通について検討を進めるとともに、道後温泉を中心とした圏域の観光PR活動や、国内外へのプロモーション強化を通じて、更なる観光客誘致と圏域内の回遊性向上に繋げる。

具体的な取組例：「道後温泉」を軸とした観光振興

道後温泉を核として、健康やリラクゼーション等のテーマがある周遊型の広域観光戦略検討や、圏域内の温泉施設の連携を含めた研究を行う。また、道後温泉別館 飛鳥乃湯泉等において連携市町の特産品のPRを行う。

集客力のある道後温泉で圏域市町の特産品をPRすることで、多くの観光客に道後温泉以外の魅力を知ってもらうことができ、他の市町への観光に繋がる。また、一か所で様々な情報や体験を得ることは、多様化する観光客のニーズにも応えることができ、満足度にも繋がる。

## (2) 高次の都市機能の集積・強化

- 第1期ビジョンでは、救急医療体制の将来構想の策定により圏域の安全・安心な暮らしを強化するとともに、広域交通拠点であるJR松山駅・松山空港・松山観光港の利用促進などにより圏域の利便性向上に努めた。また、圏域内の大学や松山アーバンデザインセンターなどとの連携により、圏域内の課題を解決するための機能向上を図った。
- 圏域住民アンケートでは、将来の圏域に望む姿として、圏域で安全・安心に暮らせることが最も多く挙げられている。第1期ビジョンでの取組を継続するとともに、圏域ネットワークを生かして形成された救急医療や防災に関する体制の維持、広域公共交通網の更なる強化により、圏域住民誰もが高次の都市機能サービスが受けられる環境づくりが求められている。
- 2015年9月の国連サミットで採択された持続可能な開発目標（SDGs）を達成するために、全国各地で様々な取組が行われており、松山圏域においても、産学金官民などの多様なステークホルダーによるプラットフォームを活用して、SDGsに関する知識の醸成や実際の地域課題の解決に繋げていくことが必要と考えている。



### <基本方針>

#### ① 安全・安心の圏域づくり

安全・安心な暮らしを行うことは圏域住民が最も望むことであり、昨今頻発する災害への備えを圏域一体で取り組むことで、お互いを助け合い、より強固な体制を構築することができる。

そのため、救急医療体制の維持や防災拠点の整備に関する検討を行うことで、高次の都市機能の更なる充実を図り、圏域内住民が、居住地域にかかわらず安全で安心な生活が送れるよう圏域内での連携を強化する。

具体的な取組例：圏域内消防機能の共同運用

消防指令センターや特殊車両など、消防機能の共同運用を圏域市町で検討し、松山圏域の持続可能な消防体制を構築する。

消防機能の共同運用を行うことで、スケールメリットにより業務が効率化され、圏域市町の経費が削減できるとともに、消防本部間の連携と情報の共有化が可能となり、隣接地域や大規模な災害時の相互応援体制の充実強化につながる。

## ② 広域的公共交通網の構築と圏域拠点の整備

松山圏域内には広域交通の拠点として、JR松山駅・松山空港・松山観光港があり、そこから市町へ道路ネットワークで繋がっていることから、それらの結節機能とネットワークの強化により、圏域住民や観光客の利便性向上が期待される。

そのため、JR松山駅周辺の機能強化や松山空港の利用促進、道路ネットワークの強化を行うことで、高次の都市機能の更なる充実を図り、圏域内住民が、居住地域にかかわらずそれらの機能に容易にアクセスできるよう、圏域内市町間での連携を強化する。

具体的な取組例：都市圏域内の道路ネットワークの強化

都市圏域内の道路ネットワークの強化を図るため、IC付近や松山外環状道路等の幹線道路を整備する。

道路ネットワークは各市町で完結するものではないため、圏域市町で連携して、整備を促進することで、救急医療などのネットワークを裏付け、圏域住民の生活利便性向上にも繋がる。

## ③ 圏域における課題解決機能の向上

松山圏域には、複数の大学やシンクタンク機能を有する「松山アーバンデザインセンター」のほか、圏域市町を含む産学金官民などの多様なステークホルダーで構成される「松山市SDGs推進協議会」があり、官民連携による地域課題の解決に向けた取組への拡大が期待されている。

そのため、それらの組織を活用した官民連携による質の高い美しい都市空間の創造やまちづくりの担い手育成、SDGsの考え方に沿ったまちづくりなどを推進することで、圏域の活性化と持続可能な発展を図る。

具体的な取組例：SDGsの推進

松山市SDGs推進協議会（プラットフォーム）での活動を通じて、圏域市町が連携しながら、SDGsの考え方に沿った持続可能なまちづくりを進め、地域の課題解決に向けた取組の拡大に繋げる。

圏域で連携し、情報交換や啓発イベントの共同開催を行うことで、より多くの人々が考え方を共有し、広域的に影響をもたらすことが期待される

### (3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

- 第1期ビジョンでは、病児・病後児保育の広域利用や圏域内図書館の利用登録の拡大など、公共公益施設サービスの連携利用を可能とした。また、医療や介護、災害対応などにおいて、市町間で情報交換やネットワークの強化を行い、文化・スポーツなどの活性化に圏域が一体的に取り組んだ。
- 圏域住民アンケートで、重要度も満足度も高い取組として「医療・福祉サービスの充実」や「学校教育・子育て支援の充実」、「環境保全施策・災害対策の推進」が挙げられており、現状での取組も評価されている。引き続き、これらの取組をより充実させることで圏域住民の生活の利便性や質的向上に繋がり、暮らしたいと思える圏域であり続けることができる。
- それぞれの特長をもつ圏域内市町において、行政職員のノウハウを生かしあいながら、子育てや医療・介護などに関するイベントや研修を共同で開催することで、職員のスキルアップに繋げることができる。
- また、暮らしたい・戻りたいと思える若者を増やし、人口減少を抑制するために、高校生へのふるさと体験の機会を提供し、愛着の醸成に繋げることが必要である。
- SDGsの観点からも圏域全体として環境保全施策を推進し、広域でのごみ処理や災害時の廃棄物処理について検討することで、より効率的で環境にやさしい生活を送ることができる。



#### <基本方針>

##### ① 医療・介護・福祉サービスの充実

2025年には、戦後のベビーブームの時に産まれたいわゆる団塊の世代と呼ばれる人たちが75歳以上の後期高齢者になると言われており、急速に高齢化が進む中、地域の実情に応じた医療・介護の体制を構築することが求められている。

そのため、救急ワークステーションによる救急救命士等の教育体制を充実させるほか、健康づくりや地域包括ケアシステムの推進を図る。

##### 具体的な取組例： 地域包括ケアシステムの推進

各市町での取組事例等を共有し、地域の課題を地域で解決する地域包括ケアシステムの推進を図ることで、圏域内に住む人たちが、高齢になっても住み慣れた地域で暮らしていけるまちづくりに取り組む。

地域の実情に合った医療・介護等の支援ができ、地域内で助け合う体制をつくる地域包括ケアシステムを有効に機能させることで少子高齢社会に対応することができる。

## ② 結婚・出産・子育て支援の充実

地方創生が注目されはじめ、国の（第1期）まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定から5年経った今も全国で合計特殊出生率は上がっていない。本圏域においても例外ではなく、子どもが産みやすい環境や子育て家庭に優しい社会を構築することが急務となっている。

そのため、引き続き、病児・病後児保育の広域受け入れに取り組むほか、児童クラブ支援員や子育て支援事業者向けの研修を共同で開催する。また、出会いイベント等の共同実施や産後ケアの広域利用を実施する。

具体的な取組例：産後ケア事業の推進

産後の体調不良や育児不安があり、家族等から十分な援助を受けられない方に対し、産後ケア事業の利用により、安心して育児ができるよう、各市町が連携して広域利用に取り組む。

広域利用に向けた検討を行うとともに、産後ケア事業を実施する施設の拡充に努め、圏域での産後ケア事業の充実を図ることで、子育て世帯の負担軽減に繋がる。

## ③ 文化・スポーツ施策等を通じた圏域の活性化

人々が、生活に様々な豊かさを求めるようになった現在、質の高い文化や芸術、書籍などに触れることによる情操の涵養や、プロスポーツ応援、大会・合宿の誘致を契機とした圏域としての一体感の醸成などにより、圏域住民に豊かな生活をもたらすことが求められている。

そのため、引き続き、図書館や文化施設の連携、プロスポーツの支援を実施するほか、スポーツ大会や合宿等の誘致、開催について連携して取り組む。

具体的な取組例：圏域全体の文化施設の戦略的な活用

博物館等の文化施設について、出張展示等による情報発信のほか、観光、文化、学習等の様々な視点での戦略的な活用策の検討を行う。

相互出張展示などにより多くの人目に触れることで情操の涵養が図られ、各市町の持つ強みを圏域に広げることができるほか、圏域全体の活性化に繋がる。

#### ④ 災害対策の推進

平成 30 年 7 月豪雨（西日本豪雨）による甚大な被害を始めとして、近年、全国で自然災害の発生件数と被害額が増加する中、災害に対する対応や予防の重要性は、ますます高まってきている。

そのため、圏域内で担当者会議や合同訓練を実施するなど、平常時からの連携強化に取り組むほか、災害時に廃棄物処理を連携して行えるよう体制の整備を行う。

具体的な取組例：災害時の廃棄物処理に関する連携の推進

災害廃棄物収集対応における作業体制及び応援体制を確立するため、協議を行う。

平時から災害が起きた時のことを想定して体制を作り上げていくことで、圏域で一体感が醸成されるとともに、万一の際に迅速に対応を行うことができる。

#### ⑤ 環境保全施策の推進

2020 年 10 月、首相により、2050 年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにする「カーボンニュートラル宣言」が行われたこともあり、日本全国で脱炭素社会に向けた取組が加速すると見込まれる中、松山圏域においても広域的かつ一体的な環境負荷低減に向けた取組が求められている。

そのため、引き続き圏域内で地球温暖化対策を推進するほか、新たに、ごみ処理の広域化について協議会を設置し、検討を進める。

具体的な取組例：圏域内でのごみ処理広域化の検討

圏域内市町のごみ処理広域化について、協議会を設置し、検討を進める。

広域でのごみ処理や施設を集約することで、各市町でそれぞれ対応するよりも効果的に環境負荷の軽減を図ることができるほか、人口減少に伴う担い手不足や老朽化した社会資本の維持管理費用の増大に対応することが可能となる。

## ⑥ 暮らしたい・戻りたいと思える圏域づくり

松山圏域は、コンパクトに集約された都市機能と豊かな自然が共存する恵まれた環境であり、住み続けたいと思っている圏域住民が数多く存在するが、全国傾向と同様に人口減少が進んでおり、圏域の持つ機能を維持できるかどうか懸念されるため、移住・定住などによる社会増加が期待されている。

そのため、圏域内外へ向けた圏域の魅力発信や青年期からの愛着や誇りの醸成を行うことで、圏域住民が誇りに思えるようになるとともに、コロナ禍における地方居住の動向を踏まえながら、圏域外からも「暮らしたい・戻りたい」と思われるように努める。

具体的な取組例：若者のふるさと体験を通じた誇りや愛着の醸成

若者が3市3町の魅力を知り、圏域への誇りや愛着を育む機会を設けるとともに、若者自身の手でその情報を拡散するなど圏域のPRを行う。

各市町にそれぞれ特長のある文化・歴史、産業、自然環境などがあり、それらを青年期に体験することで、ふるさとに対してよい思い出を作ってもらえることができるほか、若者が発信するPRにより将来暮らしたい・戻りたいと思ってもらえる愛着や誇りの醸成が期待できる。

## ⑦ 圏域内行政サービス効率化等の推進

人口減少に伴い、自治体の税収が減少するとともに、今後も高齢化の進展に伴う歳出増は避けられないため、行政サービスの質の維持や住民負担の抑制に向け、一層の行政効率化が必要である。圏域のメリットを生かした効率化としては、個々の市町が自己完結型でフルセットのサービス提供を行うよりも、市町間の連携により一定規模の人口を有する圏域内でサービス提供をしていくことが重要となっている。

また、様々な特長をもつ各市町において、行政が蓄積している情報や知識も様々であり、圏域内でそのノウハウを共有化することが期待される。

そのため、公共データや公営住宅など個別施策の情報共有の基盤構築、行政職員の人事交流などを行うことで、圏域住民に対する行政サービスの利便性及び質的の向上に努める。

具体的な取組例：実務研修員の受入れ

様々な行政課題の解決と職員の人材育成のため、圏域市町間で実務研修員の受入れを行う。

様々な特長をもつ圏域市町において、それぞれのノウハウを持つ職員の人事交流を行うことで、有益な情報交換やノウハウの共有化ができ、職員のスキルアップに繋がる。

#### 4. 圏域と持続可能な開発目標（SDGs【エス・ディー・ジーズ】）

「持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）」は、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標として、2015年9月の国連サミットで採択された。17のゴール（目標）と169のターゲット（取組・手段）から構成され、地球上の「誰一人として取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っている。SDGsは国だけでなく、企業や大学、地方公共団体、そして国民1人ひとりを含めた全ての主体が取り組むものであり、日本においても積極的に取り組んでいる。



（資料）国際連合広報センターHP

[https://www.unic.or.jp/activities/economic\\_social\\_development/sustainable\\_development/2030agenda/sdgs\\_logo/](https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/sdgs_logo/)

今後、「全員参加で持続可能な地域」を創っていくため、産学金官民などの多様なステークホルダーがパートナーシップを形成し、地域課題を解決するための事業を実施するプラットフォームとして、松山市が中心となり「松山市SDGs推進協議会」を令和2（2020）年7月に設立。現在、伊予市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町も加入し、松山圏域として、「持続可能な地域」の実現に向けて、取り組む体制を整えた。

松山圏域は、「～四国カルストから道後、瀬戸内へ～ やま・まち・うみ・ひと、暮らし彩るみんなの松山圏」という将来像の実現に向けて、各市町が連携しながら、地域の課題解決のため様々な取組を進めている。これまでは行政が主体となって、解決のための財源や人員を確保してきたが、これからは社会の変化に適応する中で、自ら変革を起こすことが必要と考えられている。

松山圏域の将来像実現のための具体的な取組をより効果的に実施するためにも持続可能な開発という観点を持ち、人口減少・少子高齢社会やコロナ禍にあっても、全ての人が幸福を感じられる圏域づくりを行っていくこととする。

SDGs17の目標

1		[貧困]	あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる
2		[飢餓]	飢餓を終わらせ、食料の安定確保及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する
3		[保健]	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
4		[教育]	すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
5		[ジェンダー]	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメント（能力強化）を行う
6		[水・衛生]	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
7		[エネルギー]	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する
8		[経済成長と雇用]	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々のための生産的な完全雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する
9		[インフラ、産業化、イノベーション]	強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る
10		[不平等]	各国内及び各国家間の格差を是正する
11		[持続可能な都市]	包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び居住地を実現する
12		[持続可能な生産と消費]	持続可能な生産と消費パターンを確保する
13		[気候変動]	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
14		[海洋資源]	持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
15		[陸上資源]	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
16		[平和]	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
17		[実施手段]	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

SDGsは、これら経済、社会、環境の3側面から捉えることのできる17のゴールを、統合的に解決しながら持続可能なよりよい未来を築くことを目標としている。

## V. 将来像の実現に向けた具体的取組

以下、全ての具体的取組について、連携協約に規定する。

【取組の体系図】

分野	基本方針	取組	No.	
①圏域全体の経済成長のけん引	①市町の特長を生かした一体的な産業振興と企業活動支援	①中小企業の振興	1	
		②企業立地の支援	2	
	②農林水産物のブランド化と6次産業化による販路拡大	①圏域が誇る農林水産物の消費拡大	3	
		②有害鳥獣の連携捕獲	4	
		③ICT等を活用した「スマート農業」の研究	5	
	③山・街・海をつなぐ広域観光の推進	①「道後温泉」を軸とした観光振興	6	
		②圏域全体の観光資源を対象としたプロモーションやファームツアーの実施	7	
②高次の都市機能の集積・強化	①安全・安心の圏域づくり	①救急医療提供体制の維持	8	
		②火災調査事例の共同研究と合同調査	9	
		③消防分野の合同就職説明会	10	
		④圏域内消防機能の共同運用	11	
	②広域的公共交通網の構築と圏域拠点の整備	①都市圏域内の道路ネットワークの強化	12	
		②松山空港の利用促進	13	
		③JR松山駅周辺地区整備事業による広域交通結節機能の向上	14	
	③圏域における課題解決機能の向上	①松山アーバンデザインセンターによる人材育成	15	
		②SDGsの推進	16	
	③圏域全体の生活関連機能サービスの向上	①医療・介護・福祉サービスの充実	①救急医療の適正利用	17
			②救急ワークステーションの活用	18
③健康づくりの推進			19	
④地域包括ケアシステムの推進			20	
②結婚・出産・子育て支援の充実		①病児・病後児保育の広域受け入れ	21	
		②保育を必要とする子どもの広域受け入れ	22	
		③児童クラブ支援員研修の連携	23	
		④子育てイベントや研修の共同開催	24	
		⑤出会いイベント等による婚活支援事業の連携・共同実施	25	
		⑥産後ケア事業の推進	26	
③文化・スポーツ施策等を通じた圏域の活性化		①圏域全体の図書館利用対象者の拡大	27	
		②圏域全体の文化施設の戦略的な活用	28	
		③プロスポーツ支援	29	
		④スポーツ大会等の誘致・開催に向けた連携協力	30	
④災害対策の推進		①災害対策広域連携事業の推進	31	
		②災害時の廃棄物処理に関する連携の推進	32	
⑤環境保全施策の推進		①圏域での地球温暖化対策の推進	33	
		②環境学習・普及啓発の推進	34	
		③合併処理浄化槽の普及促進	35	
		④汚泥の共同処理に係る調査研究	36	
		⑤重信川流域自治体による地下水の保全	37	
		⑥圏域内でのごみ処理広域化の検討	38	
⑥暮らしたい・戻りたいと思える圏域づくり		①移住の促進	39	
		②広報紙の連携	40	
		③若者のふるさと体験を通じた誇りや愛着の醸成	41	
		④民間が主導する連携事業の推進	42	
⑦圏域内行政サービス効率化等の推進		①公共データの公開拡充と利活用促進	43	
		②空き家対策及び公営住宅の管理等の共有化	44	
		③実務研修員の受け入れ	45	

(注) 連携の強み4分類の意味は、以下のとおり。

【範囲】：強みを持ち寄り、それぞれの持つリソースやノウハウを活用する 【規模】：圏域全体を1つの自治体と捉え、スケールメリットを働かせる  
 【密度】：圏域の中心地を使い、それぞれの利益や生産性を上げる 【集積】：地域の未来に投資できる産業を集積させる（産業クラスターなど）

No.	取組番号	重点	連携の強み（メリット）				SDGs（17の目標）
			範囲	規模	密度	集積	
1	111	★	●	●	●	●	8 17
2	112		●			●	8 9 17
3	121			●			2 8 17
4	122		●				15 17
5	123	★		●		●	2 8 9 17
6	131				●		8 9 17
7	132	★	●	●			8 9 17
8	211			●			3 17
9	212	★	●				11
10	213	★		●			5 8
11	214	★		●			11
12	221	★		●	●		8 11
13	222			●	●		9 11 17
14	223			●			11
15	231		●			●	4 11 17
16	232	★	●			●	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17
17	311			●			3
18	312		●				3
19	313		●				3 4 11 17
20	314			●			3 11 17
21	321	★	●				3 4 8 17
22	322	★	●				4 8 17
23	323		●				3
24	324		●				3 17
25	325		●				11 17
26	326	★		●			3 11 17
27	331		●				4
28	332		●				4 17
29	333		●				3 11 17
30	334	★	●	●			3 8 17
31	341			●			11 17
32	342	★	●				11 13
33	351		●				4 7 13 14 15 17
34	352	★	●				4 17
35	353			●			6
36	354			●			6 11
37	355		●				6 15
38	356	★		●			11
39	361		●				11 17
40	362		●				11
41	363	★	●		●		4 11 17
42	364	★	●				11 17
43	371			●			9 16
44	372		●	●			11
45	373		●	●			8

丸数字は P72 の「SDGs17 の目標」の表に対応している。

## 分野 1 圏域全体の経済成長のけん引

### 【基本目標】

成果指標<KPI> (単位)	基準値 (R1年度)	目標値 (R7年度)
圏域内総生産 (百万円)	2,127,032 (H29)	2,132,000 (R5)
観光客数 (千人)	11,089	11,180

圏域内の関係市町、産業界、大学及び金融機関などが連携した商談会の開催による中小企業の振興や、農林水産業の活性化、広域的な観光施策の展開など、圏域全体の経済成長のための取組を推進する。

### (1) 市町の特長を生かした一体的な産業振興と企業活動支援 (11)

取組名	中小企業の振興 (111)				連携市町	全市町
取組概要	産学金官民で連携して商談会を開催し、販路拡大を図るなど、中小企業の振興を行う。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	8,890	8,890	8,890	8,890	8,890	44,450
役割分担の 考え方	松山市が中心となって実施し、他市町内の事業者への周知・啓発等は当該市町が実施する。					
費用分担の 考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名 (単位)		基準値 (R1年度)		目標値 (R7年度)	
	商談会における松山圏域企業の商談件数 (件) 【※累計】		348		1,750	
SDGs 17の目標						
圏域メリット						

取組名	企業立地の支援（112）				連携市町	全市町
取組概要	景気動向や雇用状況等、圏域内の状況について意見交換や情報共有を行うとともにコロナ禍による地方見直しの動きも注視しつつ、松山圏域での企業の誘致、拡大、定着及び留置に向けた活動に繋げるほか、圏域の戦略も検討していく。					
概算費用 （千円）	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	松山市を中心としつつ、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 （KPI）	指標名（単位）		基準値（R1年度）		目標値（R7年度）	
	県や圏域市町と連携して誘致活動等を行った件数（件）		8		10	
SDGs 17の目標	  					
圏域メリット	 					

## （2）農林水産物のブランド化と6次産業化による販路拡大（12）

取組名	圏域が誇る農林水産物の消費拡大（121）				連携市町	全市町
取組概要	圏域の各市町が連携し、官民連携による商品開発のほか、広報やPRなどを通じて農林水産物の消費拡大に向けた取組を推進する。					
概算費用 （千円）	R3	R4	R5	R6	R7	計
	480	480	480	480	480	2,400
役割分担の 考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	全市町が協議し、取組に参加可能な市町が、費用負担する。					
成果指標 （KPI）	指標名（単位）		基準値（R1年度）		目標値（R7年度）	
	消費者が地元産の農林水産物を利用する割合（%）		48.0		50.0	
SDGs 17の目標	  					
圏域メリット						

取組名	有害鳥獣の連携捕獲（122）				連携市町	松山市、伊予市、東温市、久万高原町、砥部町
取組概要	実務者レベルの職員による協議の場を設けて圏域市町の協力体制を継続するとともに、モンキー犬や煙火などの試行を検証し横展開等を図ることで実効性のある有害鳥獣対策の取組を行う。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	28	28	28	28	28	140
役割分担の 考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	連携可能な市町が、部分的に費用負担する。					
成果指標 (KPI)	指標名（単位）		基準値（R1年度）		目標値（R7年度）	
	有害鳥獣被害面積 (ha：ヘクタール)		60.3		55.0	
SDGs 17の目標	 					
圏域メリット						

取組名	ICT等を活用した「スマート農業」の研究（123）				連携市町	全市町
取組概要	各市町でのスマート農業に向けた取組を情報共有し、それぞれの産品や農地の事情に応じた技術の導入について研究する。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名（単位）		基準値（R1年度）		目標値（R7年度）	
	情報交換会開催回数 (回)【※累計】		—		5	
SDGs 17の目標	   					
圏域メリット	 					

(3) 山・街・海をつなぐ広域観光の推進 (13)

取組名	「道後温泉」を軸とした観光振興 (131)				連携市町	全市町
取組概要	道後温泉を核として、道後温泉別館 飛鳥乃湯泉等において連携市町の特産品のPRや情報発信を行う。また、圏域内の温泉施設の連携も含めた研究を行う。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	温泉施設の連携は松山市が中心となって検討する。 特産品PRや情報発信は連携市町と協議し、可能なものから実施を検討する。					
費用分担の 考え方	特産品PRや情報発信については情報発信実施市町で負担する。 その他は、関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名 (単位)		基準値 (R1年度)		目標値 (R7年度)	
	道後温泉別館等における 連携市町のPR連携回数 (回)		10		12	
SDGs 17の目標	  					
圏域メリット						

取組名	圏域全体の観光資源を対象としたプロモーションやファムツアーの実施 (132)				連携市町	全市町
取組概要	圏域全体の観光資源を有効活用し、周遊観光を促進するため、タクシーやレンタカー、観光バス等の二次交通の整備や、周遊観光ルートの提案を行う。また、国内外へ効果的な情報発信を行い、圏域全体での観光誘客を図る。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	原則として松山市が負担するが、詳細は関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名 (単位)		基準値 (R1年度)		目標値 (R7年度)	
	県内外での観光誘客イベントやプロモーション活動の実施件数及び旅行商品数の合計 (件)		1		4	
SDGs 17の目標	  					
圏域メリット	 					

## 分野2 高次の都市機能の集積・強化

### 【基本目標】

成果指標<KPI> (単位)	基準値 (R1年度)	目標値 (R7年度)
広域交通拠点 (JR松山駅、松山空港、松山観光港) の乗降客数 (千人)	8,660	8,700

将来にわたって安全・安心に暮らしていけることを目指して、消防分野での連携をさらに深め、また、広域的公共交通網などの整備を図るとともに、アーバンデザインやSDGsの考え方を取り入れながら圏域課題の解決を図っていくことにより、更なる都市機能の強化・充実を目指す。

### (1) 安全・安心の圏域づくり (21)

取組名	救急医療提供体制の維持 (211)				連携市町	全市町
取組概要	松山医療圏として圏域で取り組んでいる救急医療提供体制を24時間/365日維持する。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	234,500	234,500	234,500	234,500	234,500	1,172,500
役割分担の考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名 (単位)		基準値 (R1年度)		目標値 (R7年度)	
	松山医療圏での救急医療提供体制 (時間/日)		24時間/365日		24時間/365日	
SDGs 17の目標	 					
圏域メリット						

取組名	火災調査事例の共同研究と合同調査 (212)				連携市町	全市町
取組概要	圏域の消防防災力を向上させるため、火災調査事例報告会を合同で開催し、圏域内で発生した特異な調査事例等を消防本部間相互に共有することで、圏域の火災予防及び消防活動体制の向上に繋げる。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名 (単位)		基準値 (R1年度)		目標値 (R7年度)	
	松山圏域を参加対象に実施した報告会の回数 (回) 【※累計】		—		5	
SDGs 17の目標						
圏域メリット						

取組名	消防分野の合同就職説明会 (213)				連携市町	全市町
取組概要	性別を問わず、様々な場面で活躍する機会がある消防の現状をしっかりと理解してもらうよう、圏域内消防本部合同で説明会などを行い、採用拡大に繋げる。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の考え方	松山市を中心としつつ、各市町と協力して実施する。					
費用分担の考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名 (単位)		基準値 (R1年度)		目標値 (R7年度)	
	消防吏員として女性を採用している圏域内本部の割合 (%)		75		100	
SDGs 17の目標	 					
圏域メリット						

取組名	圏域内消防機能の共同運用 (214)				連携市町	全市町
取組概要	消防指令センターや特殊車両等、消防機能の共同運用により持続可能な消防体制を構築する。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	連携可能な市町と協議し、決定する。					
費用分担の 考え方	連携可能な市町が負担する。					
成果指標 (KPI)	指標名 (単位)		基準値 (R1年度)		目標値 (R7年度)	
	共同運用を開始した消防機能 (数)【※累計】		—		1	
SDGs 17の目標						
圏域メリット						

## (2) 広域的公共交通網の構築と圏域拠点の整備 (22)

取組名	都市圏域内の道路ネットワークの強化 (221)				連携市町	全市町
取組概要	都市圏域内の道路ネットワークの強化を図るため、IC付近や松山外環状道路等の幹線道路を整備する。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	173,697	267,700	1,338,476	1,384,621	2,577,300	5,741,794
役割分担の 考え方	松山市が実施する。 広域的な検討が必要な場合は、関係市町と連携可能性を協議する。					
費用分担の 考え方	松山市が負担する。 広域的な負担が生じる場合は、関係市町と協議する。					
成果指標 (KPI)	指標名 (単位)		基準値 (R1年度)		目標値 (R7年度)	
	松山都市圏道路整備促進期成同盟会による幹線道路の整備促進に向けた要望活動 (回)		1		1	
SDGs 17の目標	 					
圏域メリット	 					

取組名	松山空港の利用促進 (222)				連携市町	全市町
取組概要	松山空港の航路の維持確保等により、利用促進を図る。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	28,493	28,493	28,493	28,493	28,493	142,465
役割分担の 考え方	松山市が実施する。 広域的な検討が必要な場合は、関係市町と連携可能性を協議する。					
費用分担の 考え方	松山市が負担する。 広域的な負担が生じる場合は、関係市町と協議する。					
成果指標 (KPI)	指標名 (単位)		基準値 (R1年度)		目標値 (R7年度)	
	松山空港の利用者数 (万人)		295		295	
SDGs 17の目標	  					
圏域メリット	 					

取組名	JR松山駅周辺地区整備事業による広域交通結節機能の向上 (223)				連携市町	全市町
取組概要	JR松山駅周辺を圏域全体の広域交通の結節点として、また、交流拠点としてふさわしい施設整備に取り組むとともに、連携の可能性を検討する。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	1,600,000	1,600,000	2,200,000	2,500,000	2,400,000	10,300,000
役割分担の 考え方	松山市が実施する。 広域的な検討が必要な場合は、関係市町と連携可能性を協議する。					
費用分担の 考え方	松山市が負担する。 広域的な負担が生じる場合は、関係市町と協議する。					
成果指標 (KPI)	指標名 (単位)		基準値 (R1年度)		目標値 (R7年度)	
	松山駅周辺土地区画整理 事業進捗率 (%) 【※累計】		49.8		93.3	
SDGs 17の目標						
圏域メリット						

(3) 圏域における課題解決機能の向上 (23)

取組名	松山アーバンデザインセンターによる人材育成 (231)			連携市町	松山市、伊予市、東温市、久万高原町、砥部町	
取組概要	松山アーバンデザインセンターが取り組むアーバンデザインスクールの対象者を圏域内住民から募集し、圏域内の市町と連携することで総合的なまちづくりをより広域的に推進する。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の考え方	松山市が中心となってスクール活動を支援し、必要に応じて各市町と協議のうえ連携・支援内容を検討する。					
費用分担の考え方	松山市は既存のアーバンデザインスクール運営費を負担し、関係市町は関係市町がテーマのスクール開催経費を負担する。					
成果指標 (KPI)	指標名 (単位)		基準値 (R1年度)		目標値 (R7年度)	
	連携市町からのアーバンデザインスクール受講人数 (人) 【※累計】		5		17	
SDGs 17の目標						
圏域メリット						

取組名	SDGsの推進 (232)			連携市町	全市町	
取組概要	産学金官民などの多様なステークホルダーが加入する松山市SDGs推進協議会（プラットフォーム）での活動を通じて、圏域内市町が連携しながら、SDGsの考え方に沿った持続可能なまちづくりを検討し、地域の課題解決に向けた取組の拡大に繋げる。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	10,000	9,000	8,000	5,000	5,000	37,000
役割分担の考え方	松山市は、推進協議会事務局を担い事業を主体的に実施し、関係市町は、SDGsに係る市町内での周知・啓発等を実施する。					
費用分担の考え方	松山市は、推進協議会の運営費を負担し、関係市町は、市町内でのSDGsの周知に関する費用等を必要に応じて負担する。					
成果指標 (KPI)	指標名 (単位)		基準値 (R1年度)		目標値 (R7年度)	
	SDGs推進協議会でのセミナー・ワークショップの開催回数 (回) 【※累計】		—		34	
SDGs 17の目標						
圏域メリット						

### 分野3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

#### 【基本目標】

成果指標<KPI> (単位)	基準値 (R1年度)	目標値 (R7年度)
社会移動数 (転入者数-転出者数) (人)	▲ 570	0
合計特殊出生率 <sup>2</sup>	1.28	1.54

圏域住民の生活の利便性及び質的向上のための行政サービス機能のネットワーク化や、効率化等を推進し、圏域全体に対して住民が誇りに思えるようになるとともに、圏域外からも「暮らしたい・戻りたい」と思われる圏域づくりを目指す。

#### (1) 医療・介護・福祉サービスの充実 (31)

取組名	救急医療の適正利用 (311)				連携市町	全市町
取組概要	救急医療の適正利用に関するリーフレット及びガイドブックを共同で作成し、幼稚園、保育園等において、適正受診の啓発を圏域内市町で実施する。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	6,500
役割分担の 考え方	松山市が中心となって取り組み、各市町内での周知・啓発等は、当該市町が実施する。					
費用分担の 考え方	関係市町で応分の負担を行う。					
成果指標 (KPI)	指標名 (単位)		基準値 (R1年度)		目標値 (R7年度)	
	啓発リーフレットやガイドブックを用いた出前講座・説明会の回数 (回)		62		100	
SDGs 17の目標						
圏域メリット						

<sup>2</sup> 合計特殊出生率 … ここでKPIに設定した合計特殊出生率は、進捗を管理できるよう本圏域で独自に算出したものであり、ベイズ推定や他の機関の発表するものとは異なる。算出方法は以下の通り。

(算出方法) 母の年齢別出生数 (5歳毎) / 母の年齢別人口 (5歳毎) × 5歳分 (左記の数値について、15歳～49歳までのものを合算)、人口は、政府統計に掲出されている各年1月1日 (算出年の翌年1月1日) 住民基本台帳数値を採用

取組名	救急ワークステーションの活用 (312)				連携市町	全市町
取組概要	圏域内の救命率向上を図るため、「松山市救急ワークステーション」を活用し、救急救命士等の教育体制を充実させる。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	救急ワークステーションの救急隊員と圏域の救急隊員が相互に協力し、研修や訓練を実施する。					
費用分担の 考え方	費用が発生した場合は、関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名 (単位)		基準値 (R1年度)		目標値 (R7年度)	
	松山市救急ワークステーションへの救急救命士等受け入れ人数 (人)【※累計】		10		55	
SDGs 17の目標						
圏域メリット						

取組名	健康づくりの推進 (313)				連携市町	全市町
取組概要	健康意識の向上や主体的な健康づくりに多くの住民が取り組めるよう、他市町の住民も参加可能なオンラインの健康づくり講座を開催する。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名 (単位)		基準値 (R1年度)		目標値 (R7年度)	
	居住地以外で開催される健康づくりに関する市民公開講座にオンラインで参加した人数 (人)		—		80	
SDGs 17の目標	   					
圏域メリット						

取組名	地域包括ケアシステムの推進 (314)				連携市町	全市町
取組概要	各市町での取組事例等を共有し、地域の課題を地域で解決する地域包括ケアシステムの推進を図ることで、圏域内に住む人たちが、高齢になっても住み慣れた地域で暮らしていけるまちづくりに取り組む。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	松山市が中心となって情報共有・意見交換等を調整し、地域包括ケアシステムの推進は各市町が実施する。					
費用分担の 考え方	関係市町で応分の負担を行う。					
成果指標 (KPI)	指標名 (単位)		基準値 (R1年度)		目標値 (R7年度)	
	情報共有・意見交換会の実施回数 (回) 【※累計】		—		5	
SDGs 17の目標	  					
圏域メリット	規模					

## (2) 結婚・出産・子育て支援の充実 (32)

取組名	病児・病後児保育の広域受け入れ (321)				連携市町	全市町
取組概要	病児・病後児保育の広域利用に取り組む。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	1,247	1,247	1,247	1,247	1,247	6,235
役割分担の 考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名 (単位)		基準値 (R1年度)		目標値 (R7年度)	
	広域利用での子どもの受け入れ割合 (%)		100		100	
SDGs 17の目標	   					
圏域メリット	範囲					

取組名	保育を必要とする子どもの広域受け入れ (322)				連携市町	全市町
取組概要	保育を必要とする子どもの保護者の勤務地が、居住する市町以外の場合や里帰り出産の場合等に限り、可能な範囲で利用調整を行い、広域受け入れを実施する。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	23,342	23,342	23,342	23,342	23,342	116,710
役割分担の 考え方	広域受け入れの要件を満たす保護者に他市町の保育所等の利用希望がある場合、関係市町が協議を行い、広域受け入れを実施する。					
費用分担の 考え方	子どもの保育に要した費用について、保護者の居住する市町が負担する。					
成果指標 (KPI)	指標名(単位)		基準値(R1年度)		目標値(R7年度)	
	広域利用希望者に係る利用調整割合(%)		100		100	
SDGs 17の目標	  					
圏域メリット						

取組名	児童クラブ支援員研修の連携(323)				連携市町	全市町
取組概要	圏域内市町それぞれが実施する児童クラブ支援員研修のうち、参加枠に余裕のあるものについて、他市町の支援員が参加できるように連携を図る。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	48	48	48	48	48	240
役割分担の 考え方	研修会を開催する市町が中心となって実施する。					
費用分担の 考え方	関係市町それぞれが予算措置をする。必要に応じて各市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名(単位)		基準値(R1年度)		目標値(R7年度)	
	合同研修会の実施回数 (回)【※累計】		-		5	
SDGs 17の目標						
圏域メリット						

取組名	子育てイベントや研修の共同開催（324）				連携市町	全市町
取組概要	圏域内市町で連携を図り、子育てイベントや、子育て支援事業者向けの研修を共同開催する。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	740	740	740	740	740	3,700
役割分担の 考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名（単位）		基準値（R1年度）		目標値（R7年度）	
	共同・連携して実施したイベントや講座、研修会等の回数（回）【※累計】		8		40	
SDGs 17の目標	 					
圏域メリット						

取組名	出会いイベント等による婚活支援事業の連携・共同実施（325）				連携市町	全市町
取組概要	出会いイベント等による婚活支援について、各市町が連携して取り組む。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	5,390	5,390	5,390	5,390	5,390	26,950
役割分担の 考え方	婚活関係イベントは各市町が連携して実施し、その他新たな連携事業を行う際には協議により決定する。					
費用分担の 考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名（単位）		基準値（R1年度）		目標値（R7年度）	
	婚活イベントでのカップル成立数（組）【※累計】		227		500	
SDGs 17の目標	 					
圏域メリット						

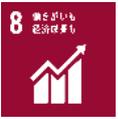
取組名	産後ケア事業の推進 (326)				連携市町	全市町
取組概要	産後の体調不良や育児不安があり、家族等から十分な援助を受けられない方に対し、産後ケア事業の利用により、安心して育児ができるよう、各市町が連携して広域利用に取り組む。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	松山市が中心となって圏域市町の現状把握や課題の共有を行い、広域での産後ケア事業の推進についての方策を検討する。					
費用分担の 考え方	関係市町で応分の負担を行う。					
成果指標 (KPI)	指標名 (単位)		基準値 (R1年度)		目標値 (R7年度)	
	広域連携による産後ケア事業の実施自治体数 (市町)		—		6	
SDGs 17の目標	  					
圏域メリット	規模					

### (3) 文化・スポーツ施策等を通じた圏域の活性化 (33)

取組名	圏域全体の図書館利用対象者の拡大 (331)				連携市町	全市町
取組概要	各市町立図書館の利用対象者を松山圏域に拡大する。また、圏域内各図書館のPRを実施するほか、新たな利便性向上の取組策を検討する。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	松山市が中心となって調整し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	必要が生じた場合は協議により決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名 (単位)		基準値 (R1年度)		目標値 (R7年度)	
	圏域内の住民が図書館利用登録できる市町の数 (市町)		6		6	
SDGs 17の目標						
圏域メリット	範囲					

取組名	圏域全体の文化施設の戦略的な活用 (332)				連携市町	全市町
取組概要	博物館等の文化施設について、出張展示等による情報発信のほか、観光、文化、学習等の様々な視点での戦略的な活用策の検討を行う。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	松山市が中心となって調整し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	相互出張展示等については、実施市町（各施設間）で負担する。 その他については、関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名（単位）		基準値（R1年度）		目標値（R7年度）	
	出張展示等の開催数 (回)		1		2	
SDGs 17の目標	 					
圏域メリット						

取組名	プロスポーツ支援 (333)				連携市町	全市町
取組概要	圏域住民がスポーツに親しむ機会を増やすとともに、交流人口の拡大を図るため、プロスポーツへの支援を行う。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	45,000
役割分担の 考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名（単位）		基準値（R1年度）		目標値（R7年度）	
	プロスポーツ支援イベント数（回）		12		20	
SDGs 17の目標	  					
圏域メリット						

取組名	スポーツ大会等の誘致・開催に向けた連携協力 (334)				連携市町	全市町
取組概要	スポーツ大会、合宿等の誘致・開催について、圏域で連携し、柔軟な会場確保や文化体験の充実を図ることで、大規模大会等の誘致・開催を進め、圏域全体の活性化に繋げる。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	実施主体の市町が負担する。					
成果指標 (KPI)	指標名 (単位)		基準値 (R1年度)		目標値 (R7年度)	
	圏域で連携したスポーツ大会等の開催件数 (件)		1		4	
SDGs 17の目標	  					
圏域メリット	 					

#### (4) 災害対策の推進 (34)

取組名	災害対策広域連携事業の推進 (341)				連携市町	全市町
取組概要	圏域の防災力向上を図るため、担当者会議や合同訓練等を実施することにより、平常時からの連携強化に取り組む。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名 (単位)		基準値 (R1年度)		目標値 (R7年度)	
	広域的な災害対策に関する会議、合同訓練等の開催回数 (回)		1		1	
SDGs 17の目標	 					
圏域メリット						

取組名	災害時の廃棄物処理に関する連携の推進 (342)				連携市町	全市町
取組概要	災害時に廃棄物処理を連携して行えるよう、体制の整備を行う。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名 (単位)		基準値 (R1年度)		目標値 (R7年度)	
	検討会の開催数 (回)		—		1	
SDGs 17の目標	 					
圏域メリット						

#### (5) 環境保全施策の推進 (35)

取組名	圏域での地球温暖化対策の推進 (351)				連携市町	全市町
取組概要	圏域内で開催されるイベントでクールチョイスなど環境に配慮した行動を啓発し、圏域での温室効果ガス削減に向けた地球温暖化対策を推進する。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の考え方	環境フェアでは松山市が中心となるなど、連携する各市町のイベントや取組によって協議し決定する。					
費用分担の考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名 (単位)		基準値 (R1年度)		目標値 (R7年度)	
	啓発イベントの回数 (回) 【※累計】		—		5	
SDGs 17の目標	     					
圏域メリット						

取組名	環境学習・普及啓発の推進 (352)				連携市町	全市町
取組概要	圏域で情報共有を図り、連携して環境に関する学習や普及啓発を推進するとともに、環境問題に精通する人材を圏域で育成する。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	環境学習及び普及啓発の内容によって、役割を各市町と協議し決定する。					
費用分担の 考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名 (単位)		基準値 (R1年度)		目標値 (R7年度)	
	検討会の開催数 (回)		—		2	
SDGs 17の目標	 					
圏域メリット						

取組名	合併処理浄化槽の普及促進 (353)				連携市町	全市町
取組概要	生活排水による河川等公共用水域の水質汚濁防止のため、圏域で連携して協議会を設立し合併処理浄化槽の普及促進を図る。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名 (単位)		基準値 (R1年度)		目標値 (R7年度)	
	協議会開催回数 (回)		1		1	
SDGs 17の目標						
圏域メリット						

取組名	汚泥の共同処理に係る調査研究（354）				連携市町	全市町
取組概要	効率的な汚泥処理を行うため、圏域市町で連携して、汚泥の共同処理について、調査研究を行う。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名（単位）		基準値（R1年度）		目標値（R7年度）	
	担当者会議開催回数 (回)		1		1	
SDGs 17の目標	 					
圏域メリット						

取組名	重信川流域自治体による地下水の保全（355）				連携市町	松山市、伊予市、東温市、松前町、砥部町
取組概要	重信川流域の地下水を保全するため、流域自治体で連携して保全策の協議、検討を行う。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	90	90	90	90	90	450
役割分担の 考え方	必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名（単位）		基準値（R1年度）		目標値（R7年度）	
	重信川流域地下水保全連絡会の開催数(回)		1		1	
SDGs 17の目標	 					
圏域メリット						

取組名	圏域内でのごみ処理広域化の検討 (356)				連携市町	全市町
取組概要	圏域内市町のごみ処理広域化について、協議会を設置し、検討を進める。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	13,200	—	—	—	—	13,200
役割分担の 考え方	松山ブロックごみ処理広域化検討協議会の中で検討する。					
費用分担の 考え方	協議会構成団体と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名 (単位)		基準値 (R1年度)		目標値 (R7年度)	
	幹事会の開催数 (回)		—		2	
SDGs 17の目標						
圏域メリット						

#### (6) 暮らしたい・戻りたいと思える圏域づくり (36)

取組名	移住の促進 (361)				連携市町	全市町
取組概要	圏域への移住を促進するため、コロナ禍により地方居住が注目されている動きにも留意し、圏域イメージの向上をはじめ、移住相談窓口の連携強化、移住フェア等を共同で実施する。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	2,208	2,208	2,208	2,208	2,208	11,040
役割分担の 考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名 (単位)		基準値 (R1年度)		目標値 (R7年度)	
	圏域で連携して実施する移住フェア等での各ブースの延べ相談人数 (人) 【※累計】		—		180	
SDGs 17の目標	 					
圏域メリット						

取組名	広報紙の連携 (362)				連携市町	全市町
取組概要	エリアプライド（圏域への愛着や誇り）の醸成を図り、定住に繋げるため、広報紙への圏域情報の掲載や相互掲載等を実施する。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	800	800	800	800	800	4,000
役割分担の 考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名 (単位)		基準値 (R1年度)		目標値 (R7年度)	
	圏域情報の広報紙への相互掲載回数 (回) 【※累計】		4		20	
SDGs 17の目標						
圏域メリット						

取組名	若者のふるさと体験を通じた誇りや愛着の醸成 (363)				連携市町	全市町
取組概要	若者が3市3町の魅力を知り、圏域への誇りや愛着を育む機会を設けるとともに、若者自身の手でその情報を拡散するなど圏域のPRを行う。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名 (単位)		基準値 (R1年度)		目標値 (R7年度)	
	連携事業数 (件) 【※累計】		—		10	
SDGs 17の目標	  					
圏域メリット	 					

取組名	民間が主導する連携事業の推進 (364)			連携市町	全市町	
取組概要	商店街活性化やまちづくりなど、様々な分野で民間が行う圏域市町連携の取組を支援し、賑わいの創出や圏域市町産品のPR等を行う。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	松山市を中心としつつ、各市町と協力して実施する。					
費用分担の 考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名 (単位)		基準値 (R1年度)		目標値 (R7年度)	
	連携事業への出展回数(回)		—		5	
SDGs 17の目標	 					
圏域メリット						

#### (7) 圏域内行政サービス効率化等の推進 (37)

取組名	公共データの公開拡充と利活用促進 (371)			連携市町	全市町	
取組概要	オープンデータ数の拡充及び国が示す推奨データセット数の拡充により、地域課題解決のための利活用の促進に取り組む。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名 (単位)		基準値 (R1年度)		目標値 (R7年度)	
	公開したオープンデータのファイル数 (件) 【※累計】		1,048		1,550	
SDGs 17の目標	 					
圏域メリット						

取組名	空き家対策及び公営住宅の管理等の共有化 (372)				連携市町	全市町
取組概要	松山圏域の3市3町が抱えている空き家対策及び公営住宅の管理等の課題解決に向けて連携する。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名 (単位)		基準値 (R1年度)		目標値 (R7年度)	
	担当者会議開催回数 (回)		1		1	
SDGs 17の目標						
圏域メリット	 					

取組名	実務研修員の受け入れ (373)				連携市町	全市町
取組概要	様々な行政課題の解決と職員の人材育成のため、圏域市町間で実務研修員の受け入れを行う。					
概算費用 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	—	—	—	—	—	—
役割分担の 考え方	松山市が中心となって実施し、必要に応じて各市町との協議により決定する。					
費用分担の 考え方	関係市町と協議して決定する。					
成果指標 (KPI)	指標名 (単位)		基準値 (R1年度)		目標値 (R7年度)	
	受入実績人数 (人)		2		1	
SDGs 17の目標						
圏域メリット	 					

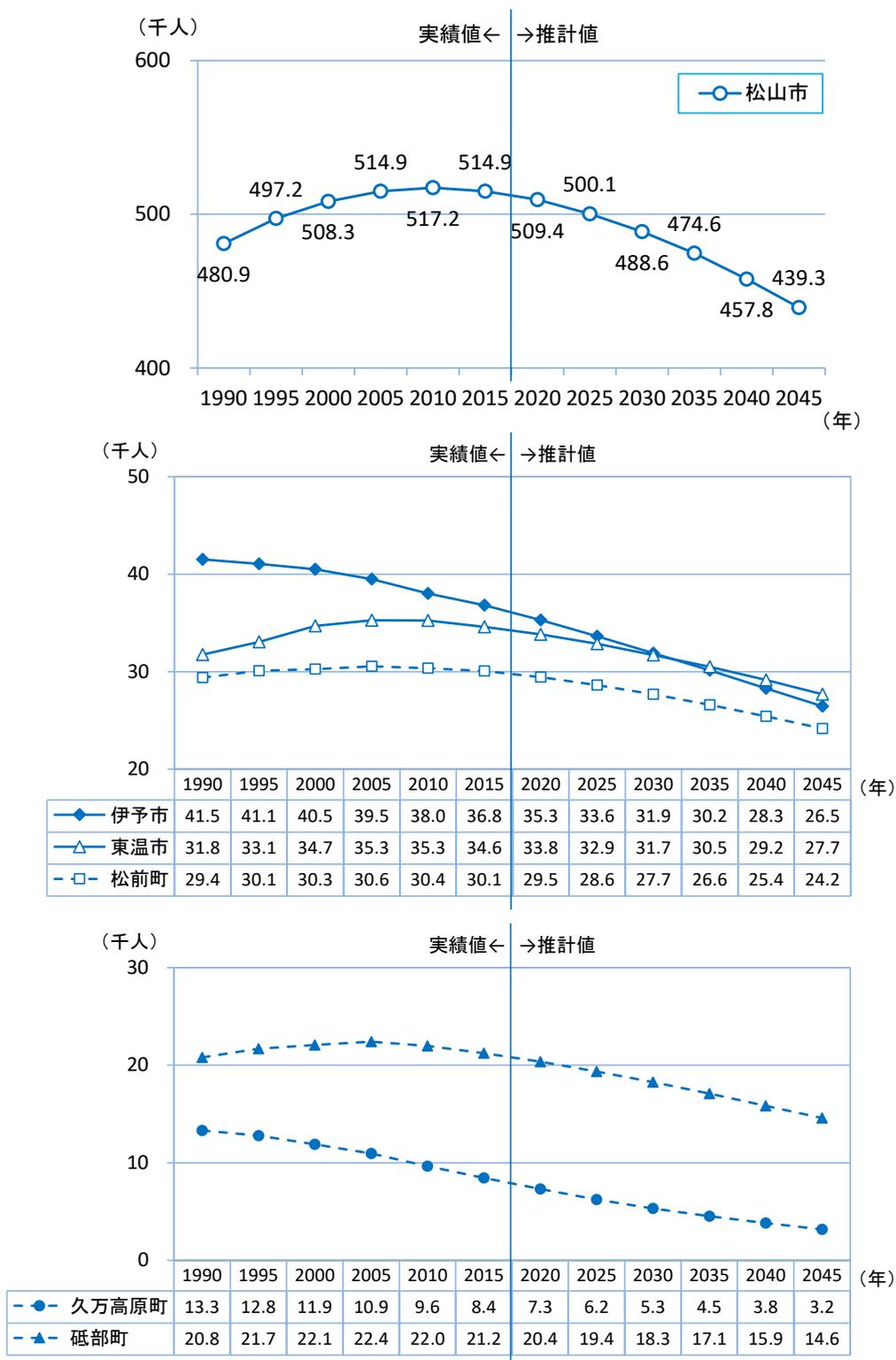
# VI. 資料編

## 1. 人口動向分析

### (1) 総人口に係る動向

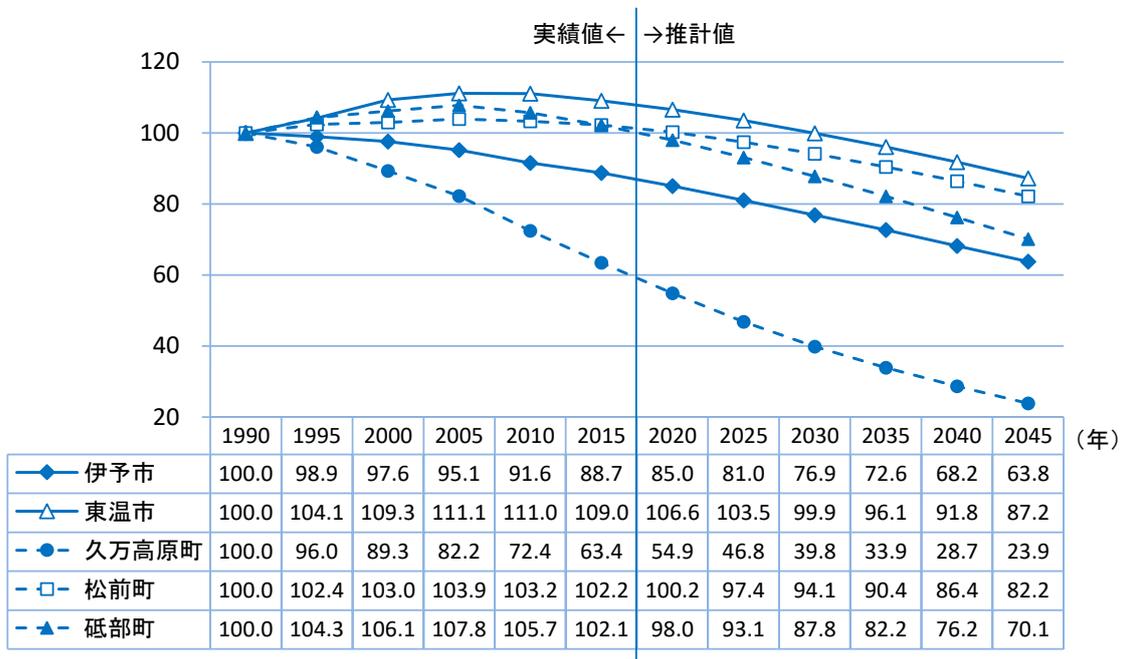
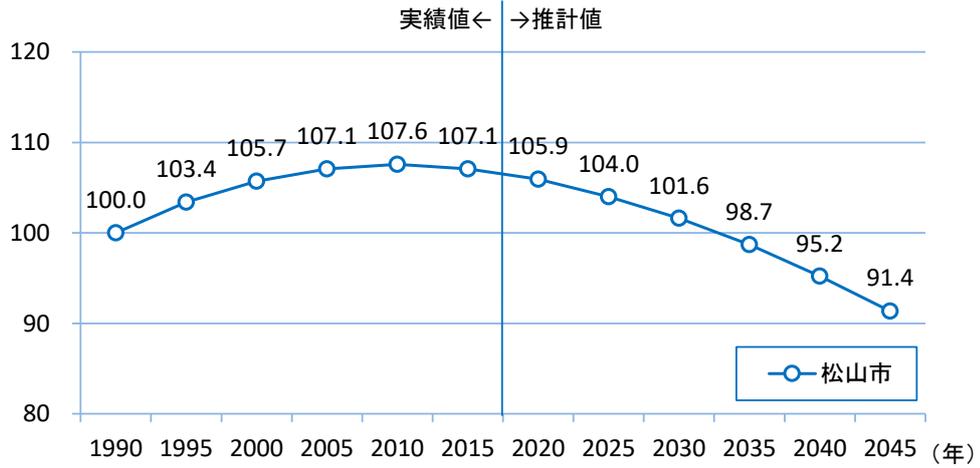
#### ① 総人口の推移（実数、指数）

図表VI-1 各市町の総人口の推移(実数)



(資料) 総務省「国勢調査」、  
 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」

図表VI-2 各市町の総人口の推移(指数)

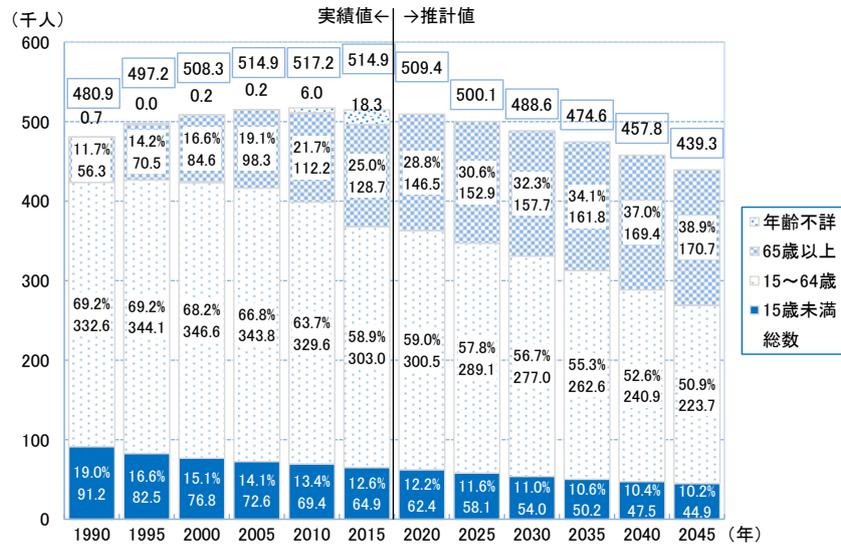


(資料) 総務省「国勢調査」、  
 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」

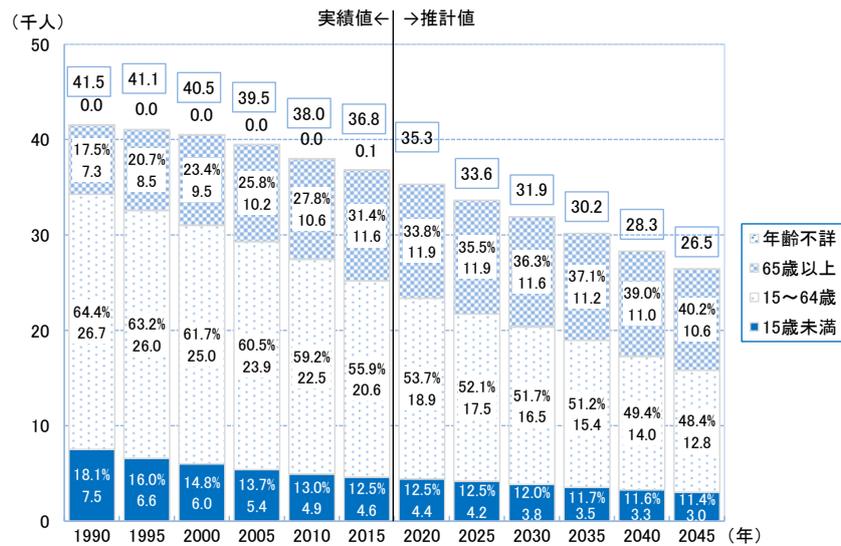
## ② 年齢3区分別人口比率

図表VI-3 年齢3区分別人口構成比の推移と見通し

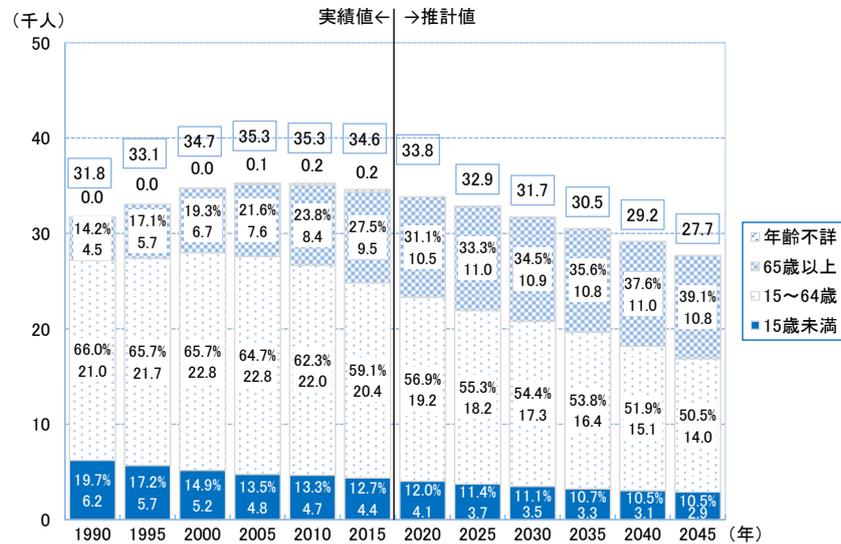
[松山市]



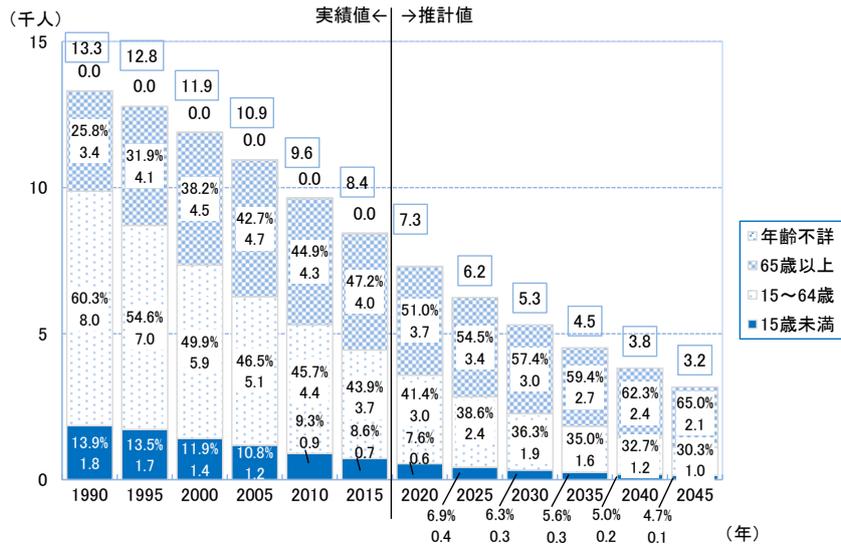
[伊予市]



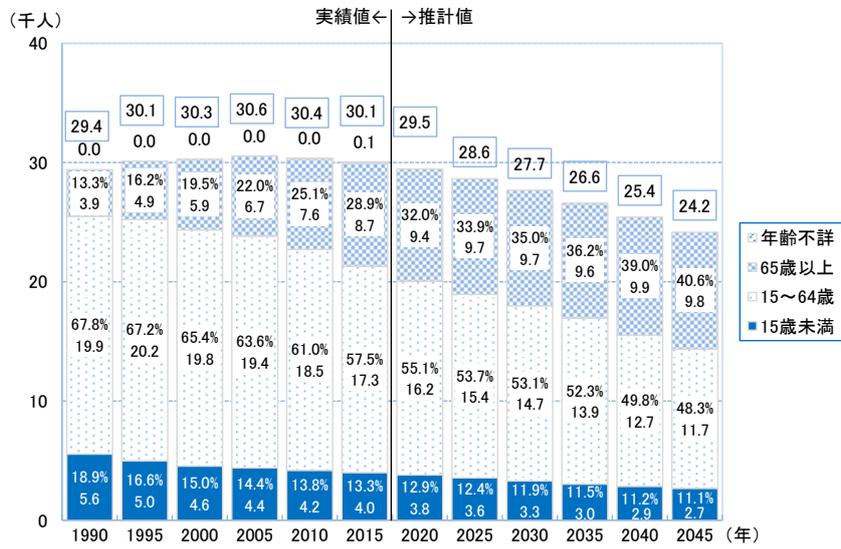
[東温市]



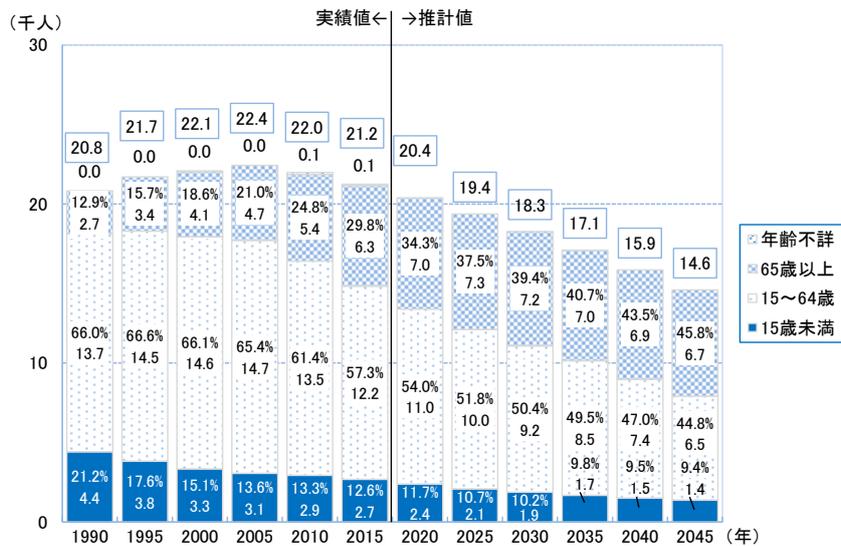
[久万高原町]



[松前町]



[砥部町]



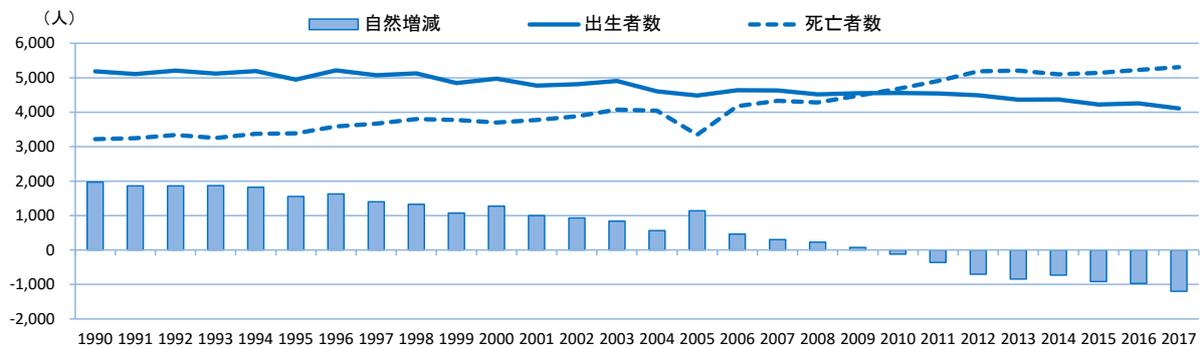
(資料) 総務省「国勢調査」、  
 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」

## (2) 自然動態に係る動向

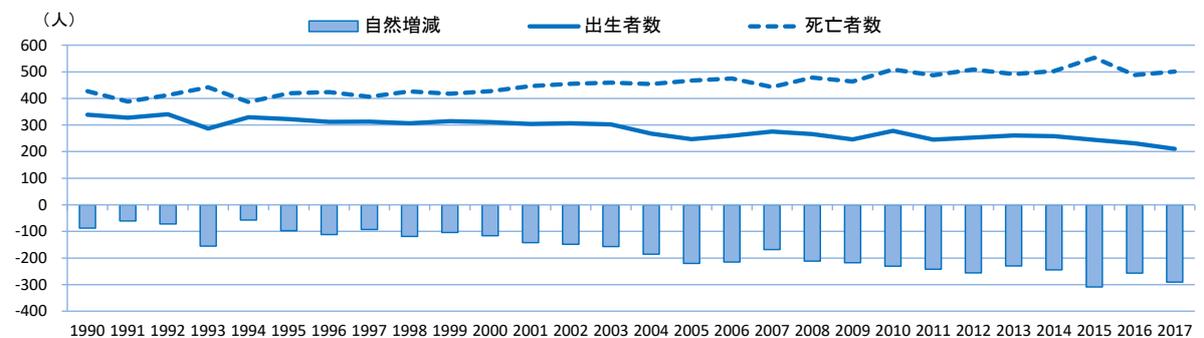
### ① 出生数・死亡数の推移

図表VI-4 出生数・死亡数の推移

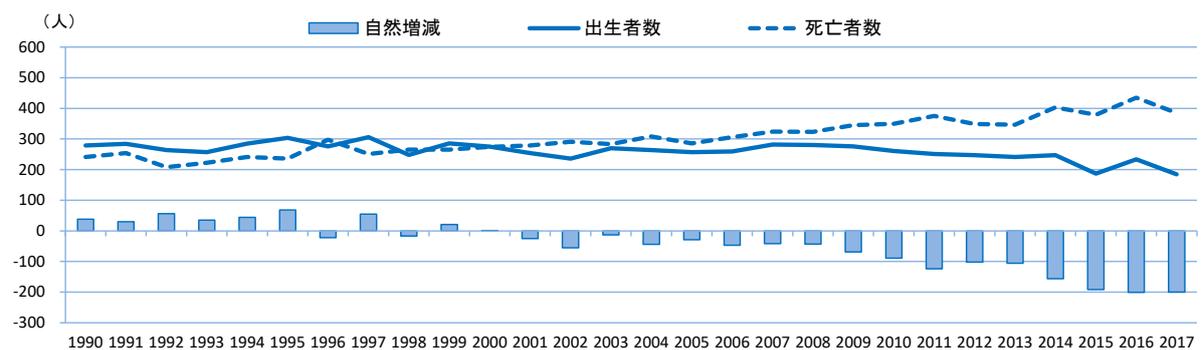
[松山市]



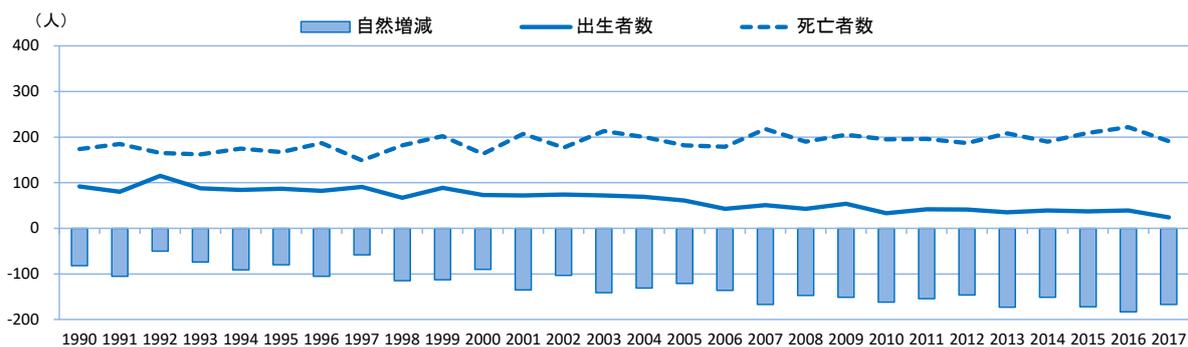
[伊予市]



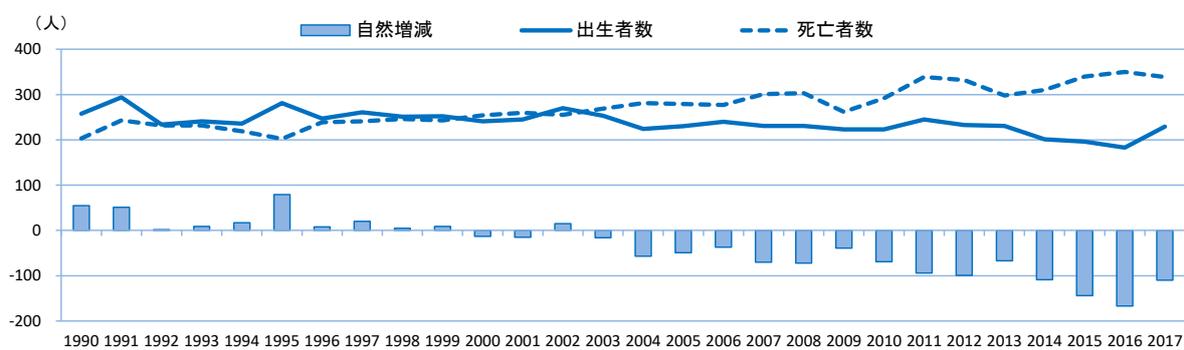
[東温市]



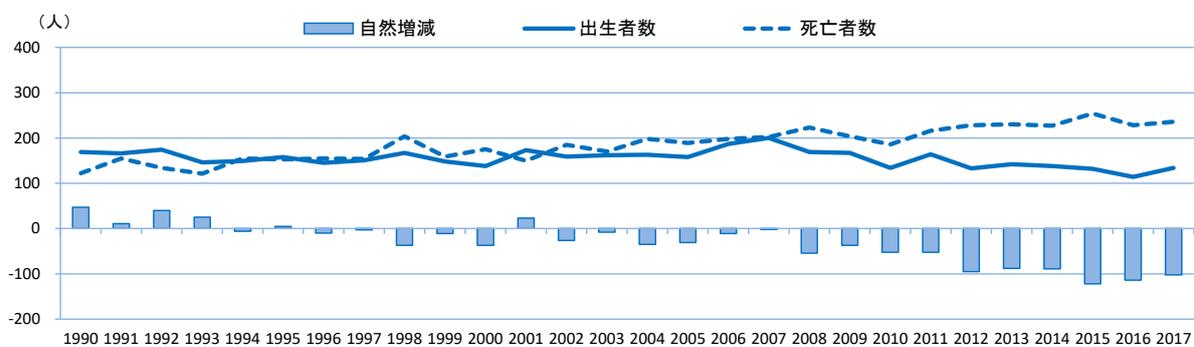
### [久万高原町]



### [松前町]



### [砥部町]



(注) 2012年までは年度集計値、2013年以降は年次集計値

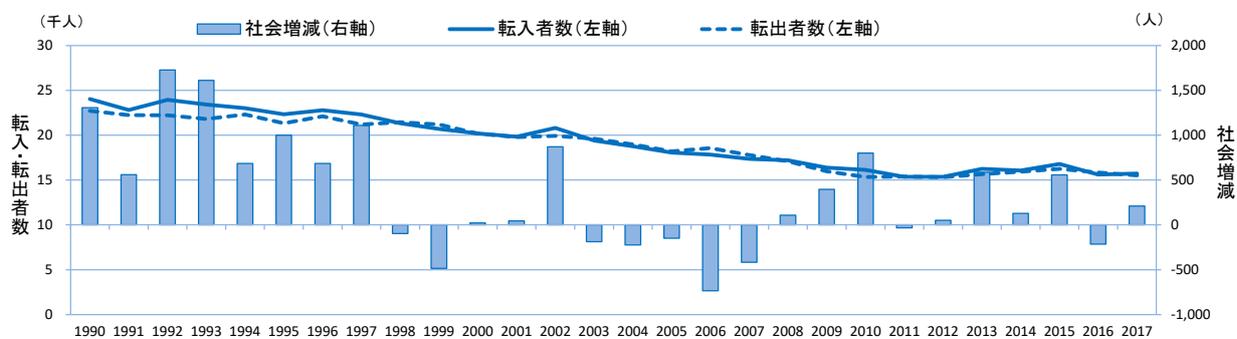
(資料) 各市町「住民基本台帳」

### (3) 社会動態に係る動向

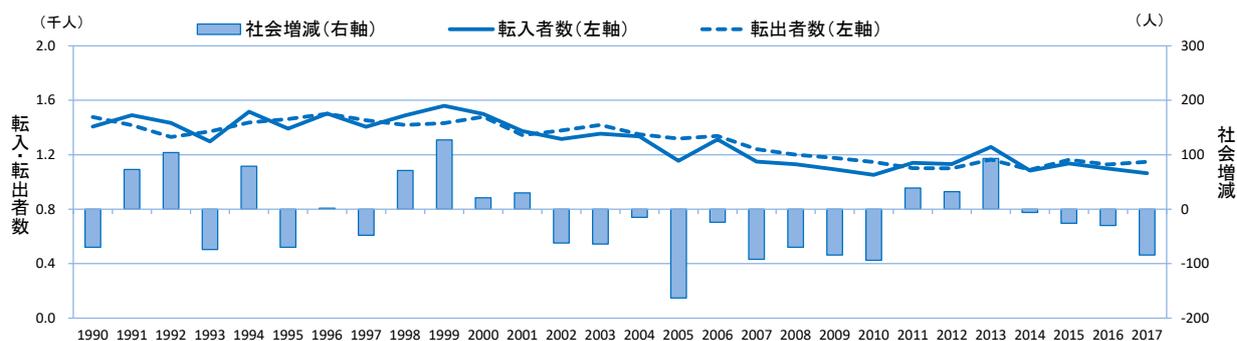
#### ① 転入・転出の推移（総数）

図表VI-5 転入・転出の推移

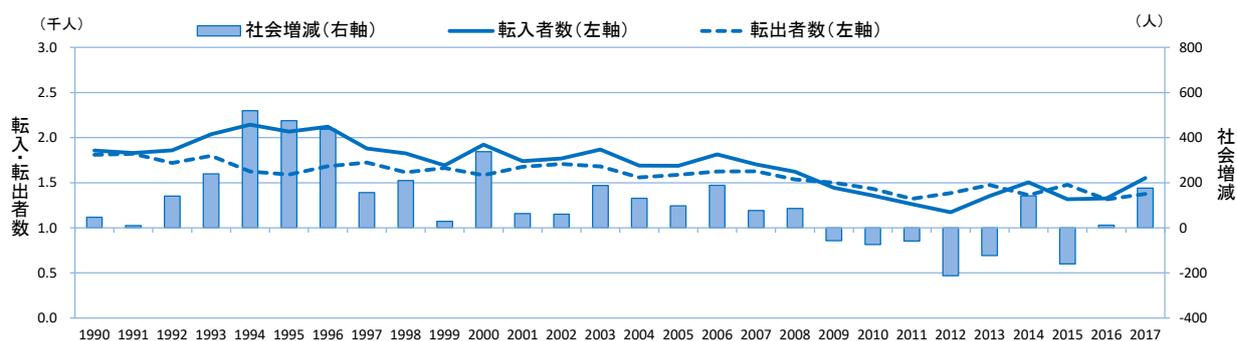
[松山市]



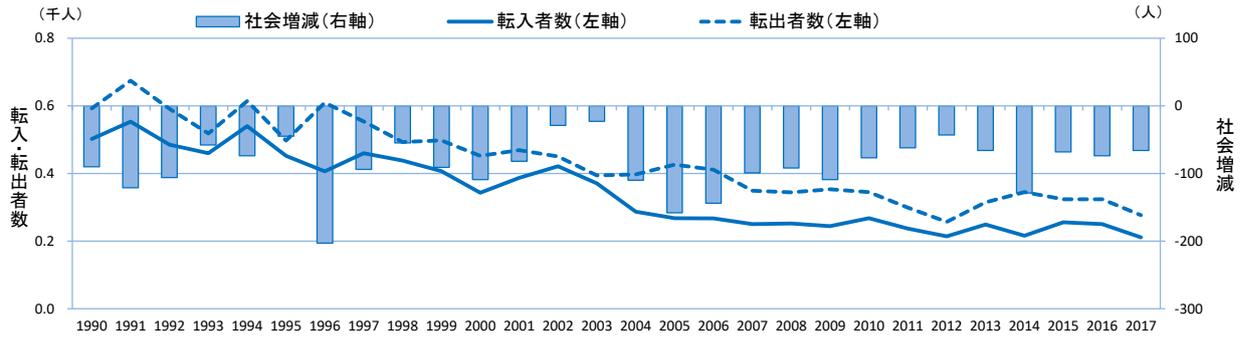
[伊予市]



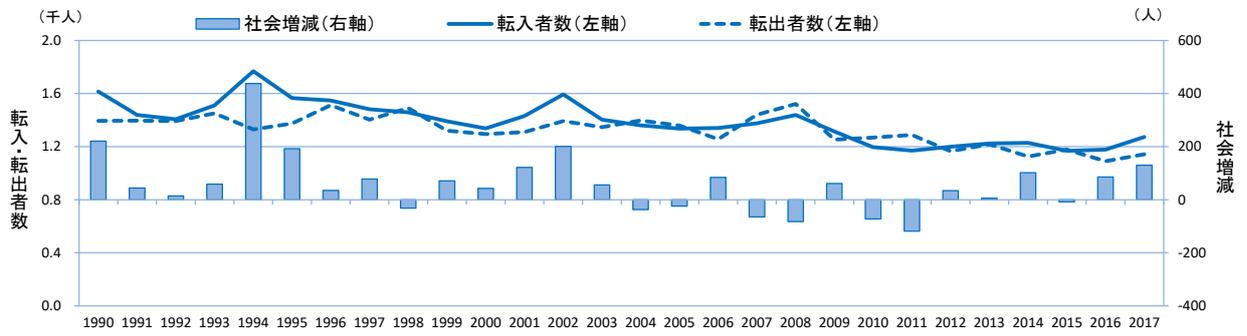
[東温市]



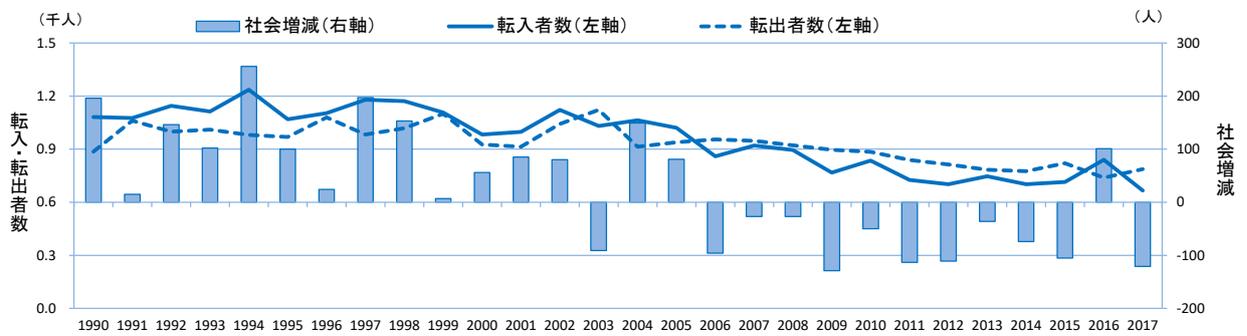
[久万高原町]



[松前町]



[砥部町]



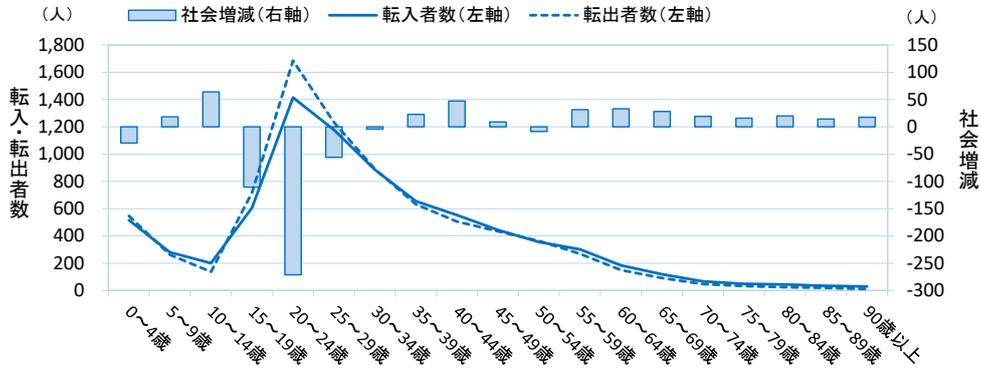
(注)2012年までは年度集計値、2013年以降は年次集計値  
 (資料)総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

## ② 年齢階級別・地域別転出入

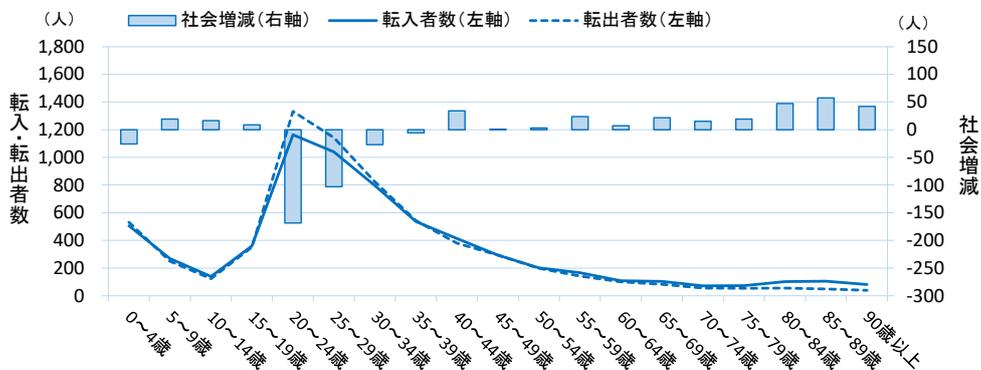
図表VI-6 年齢10歳階級別・転出入の状況(2017年～2019年の3か年平均)

### 【松山市】

#### [男性]

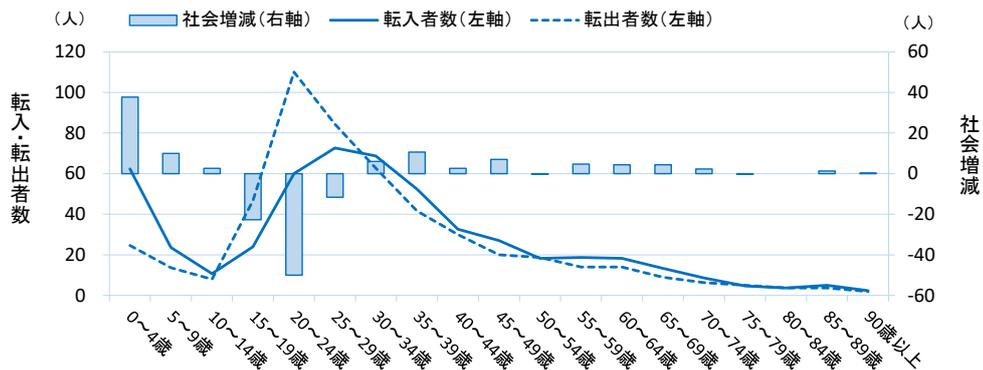


#### [女性]

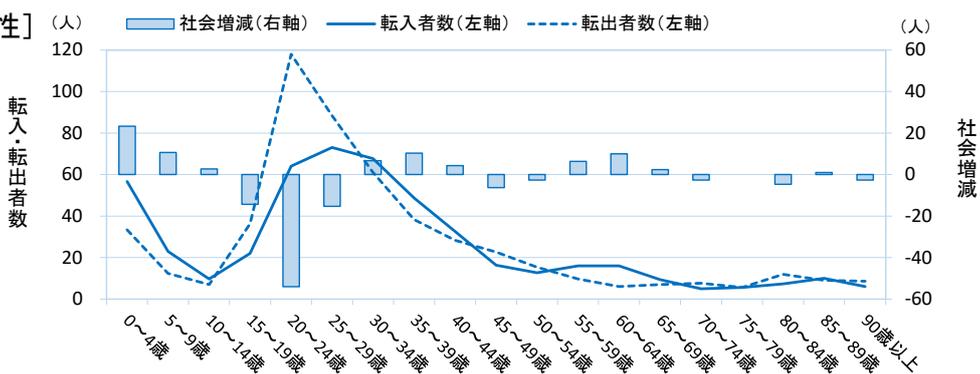


### 【伊予市】

#### [男性]

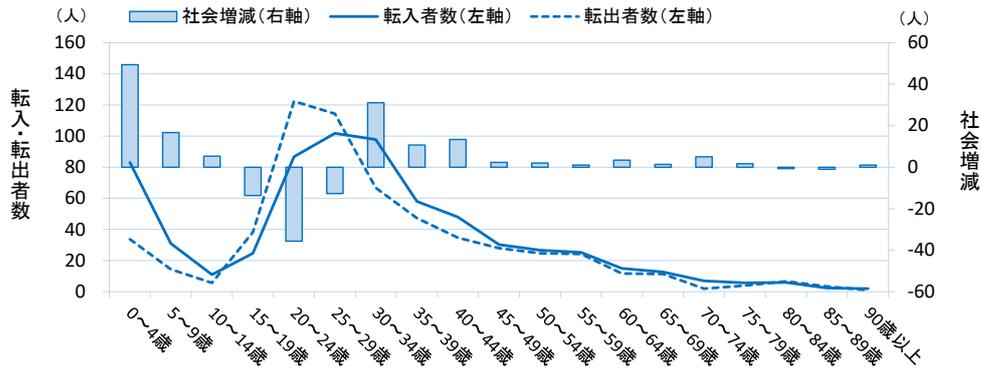


#### [女性]

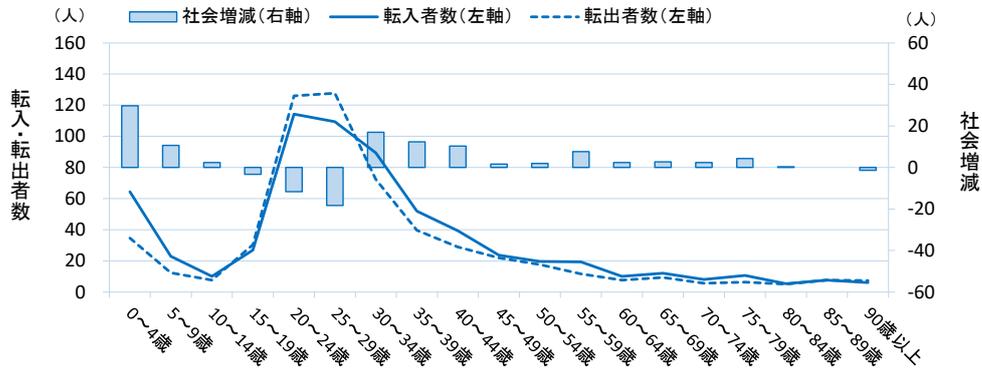


【東温市】

[男性]

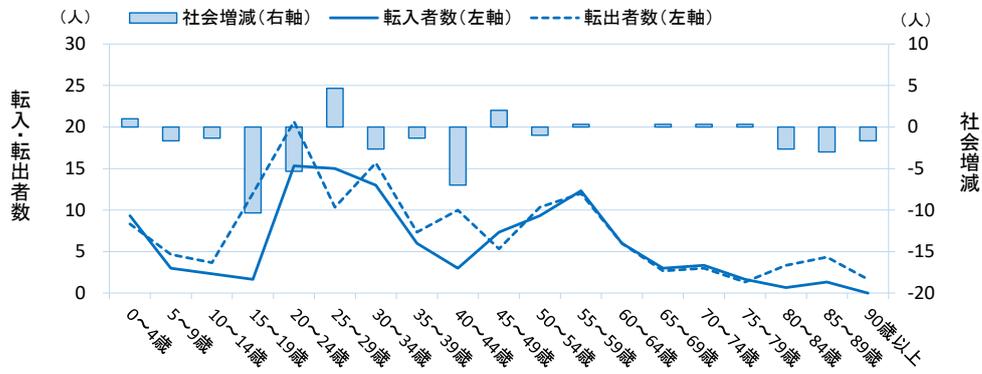


[女性]

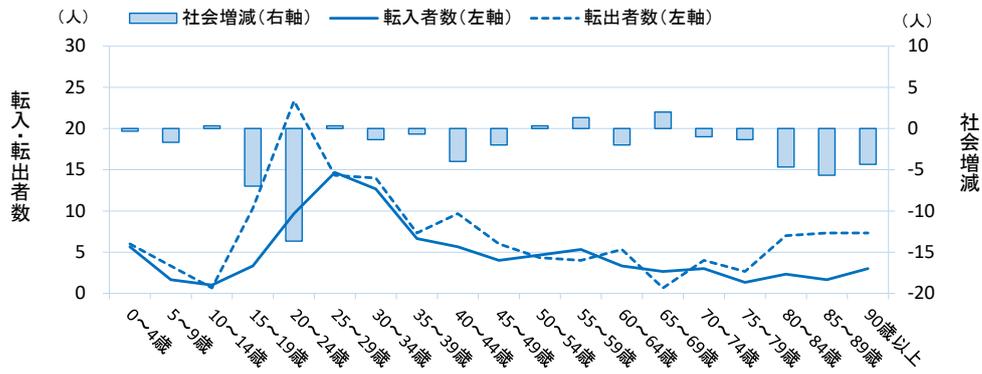


【久万高原町】

[男性]

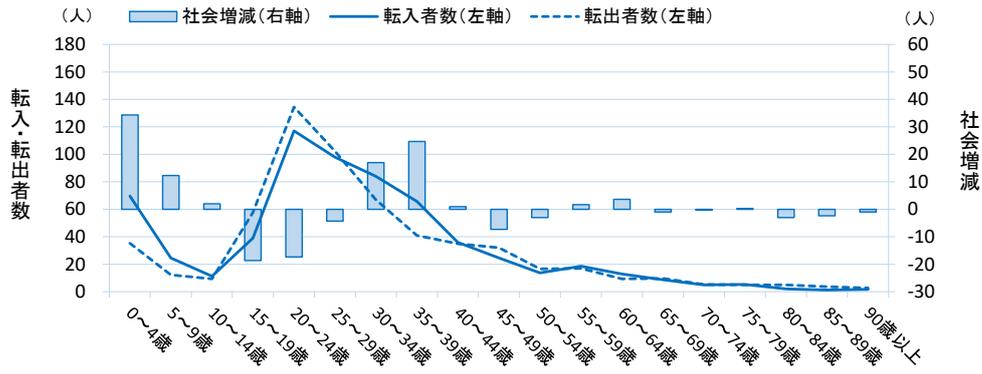


[女性]

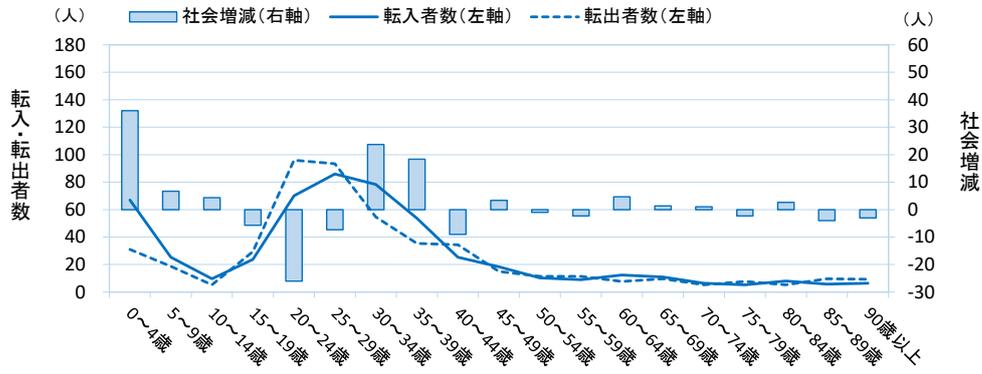


【松前町】

[男性]

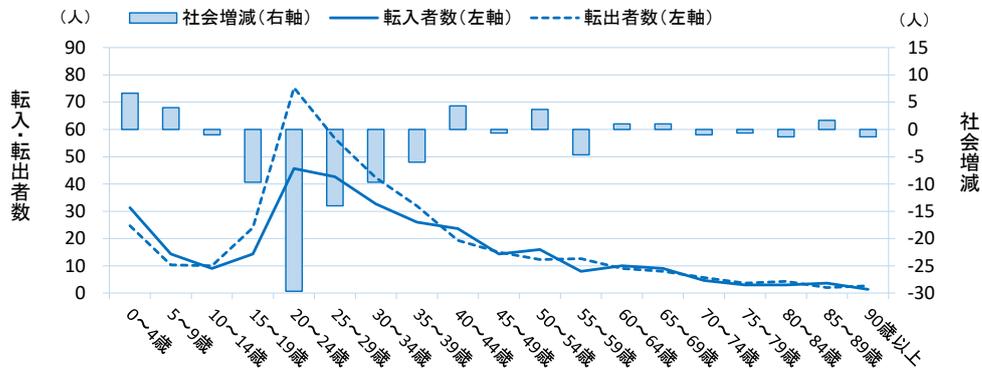


[女性]

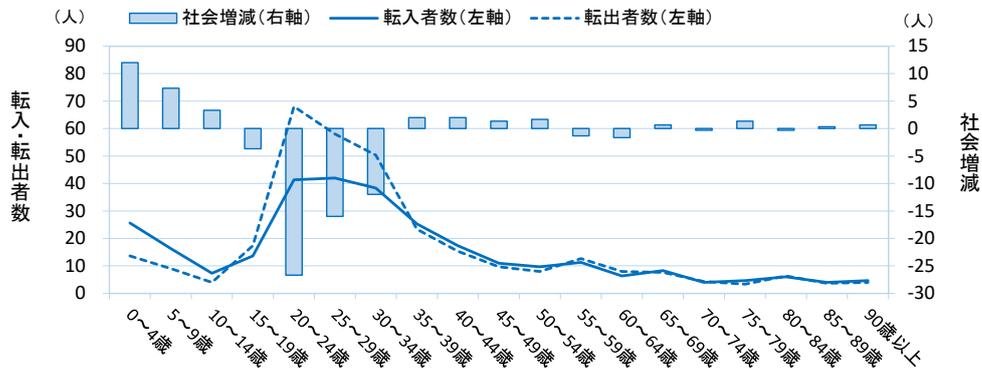


【砥部町】

[男性]



[女性]



(資料)総務省「住民基本台帳人口移動報告」

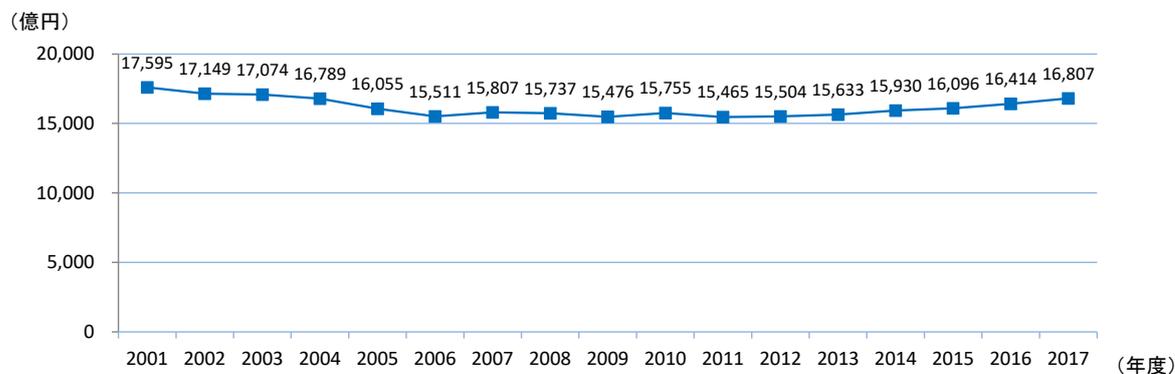
## 2. 経済・産業の分析

### (1) 市町内総生産(総額、産業別、1人当たり)

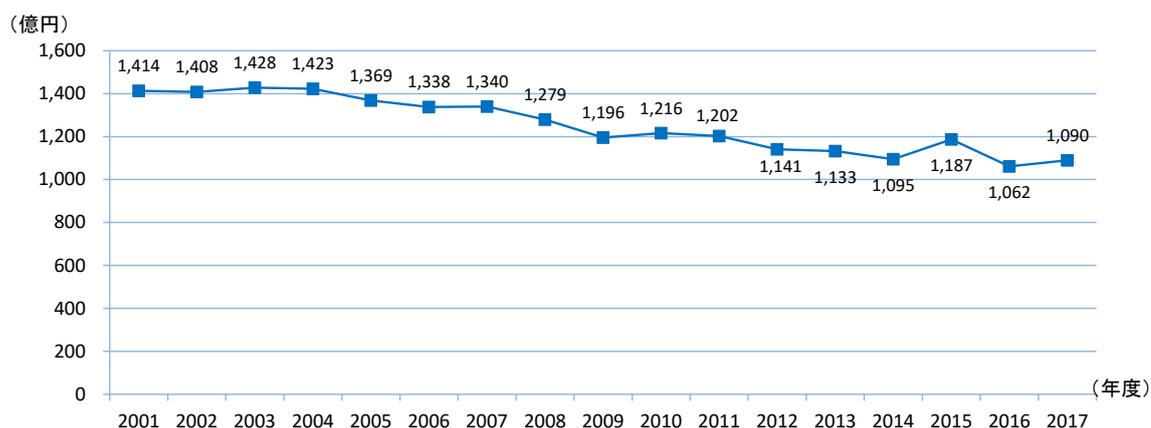
#### ① 市町内総生産(総額)

図表VI-7 市町内総生産額の推移

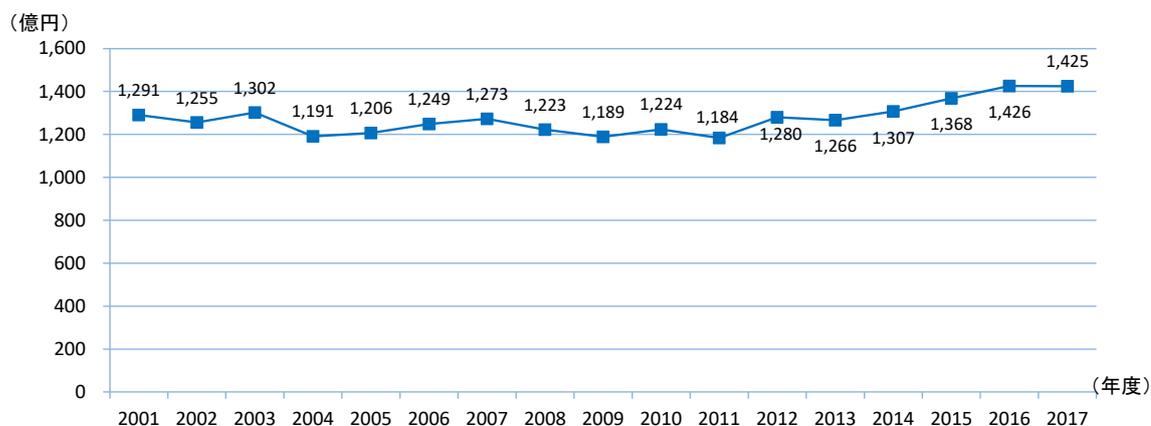
#### 【松山市】



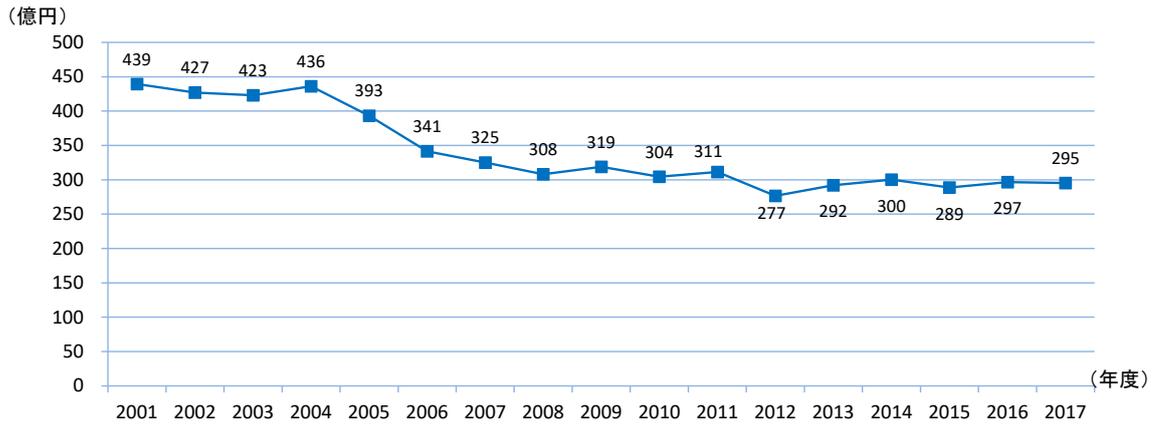
#### 【伊予市】



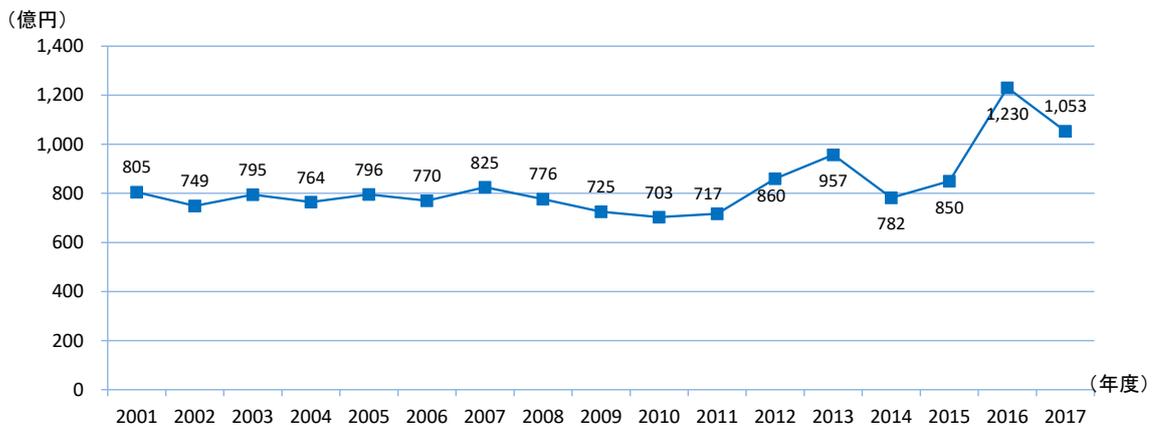
#### 【東温市】



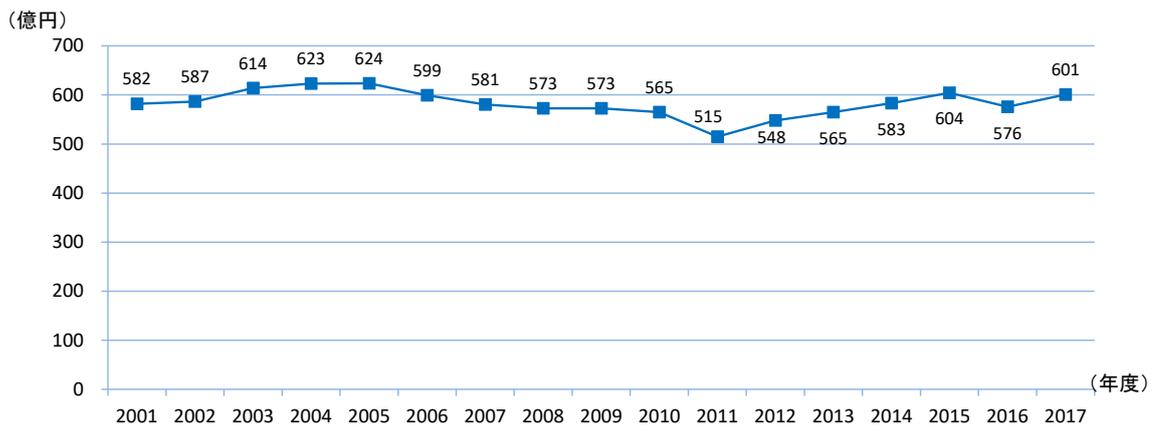
### 【久万高原町】



### 【松前町】



### 【砥部町】



(資料)愛媛県「平成24、29年度愛媛県市町民所得統計」

## ② 市町内総生産（産業別）

図表VI-8 産業別市町内総生産(2017年度)

[実数]

(単位:億円)

	松山市	伊予市	東温市	久万高原町	松前町	砥部町
総生産額(⑬+⑭-⑮)	16,807	1,090	1,425	295	1,053	601
①農業	98	42	17	14	12	17
②林業	2	1	1	23	0	2
③水産業	16	12	0	0	0	0
④鉱業	0	0	0	2	0	0
⑤製造業	1,516	252	440	11	392	79
⑥建設業	464	26	31	18	29	11
⑦電気・ガス・水道業	903	74	69	35	60	31
⑧卸売・小売業	2,051	130	126	11	108	102
⑨金融・保険業	819	57	104	8	52	45
⑩不動産業	623	17	20	8	29	8
⑪運輸・通信業	1,918	53	45	16	38	28
⑫サービス業	8,326	422	565	148	328	273
⑬小計(①~⑫の合計)	16,738	1,085	1,419	294	1,049	598
⑭輸入品に課される税・関税	265	17	22	5	17	9
⑮(控除)総資本形成に係る消費税	195	13	17	3	12	7

[構成比]

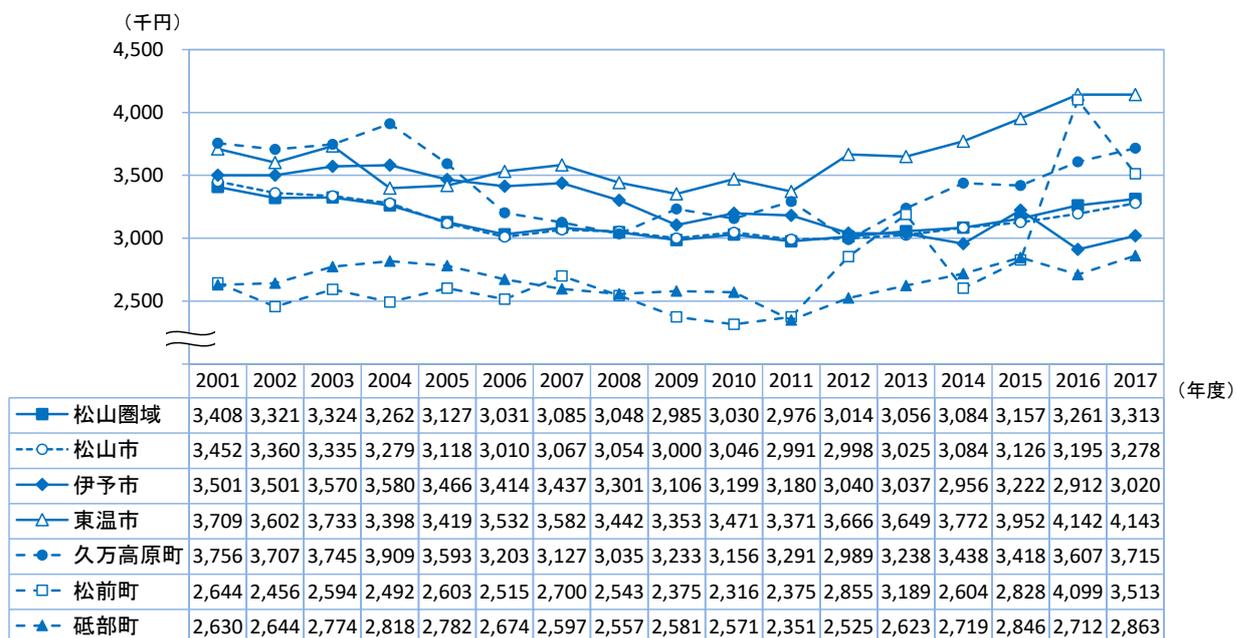
	松山市	伊予市	東温市	久万高原町	松前町	砥部町
⑬小計(①~⑫の合計)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
①農業	0.6%	3.9%	1.2%	4.8%	1.2%	2.9%
②林業	0.0%	0.1%	0.1%	7.7%	0.0%	0.3%
③水産業	0.1%	1.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%
④鉱業	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%
⑤製造業	9.1%	23.2%	31.0%	3.8%	37.4%	13.3%
⑥建設業	2.8%	2.4%	2.2%	6.1%	2.7%	1.9%
⑦電気・ガス・水道業	5.4%	6.8%	4.9%	11.9%	5.7%	5.1%
⑧卸売・小売業	12.3%	12.0%	8.9%	3.8%	10.3%	17.1%
⑨金融・保険業	4.9%	5.2%	7.3%	2.7%	5.0%	7.6%
⑩不動産業	3.7%	1.6%	1.4%	2.6%	2.8%	1.4%
⑪運輸・通信業	11.5%	4.8%	3.2%	5.3%	3.6%	4.7%
⑫サービス業	49.7%	38.9%	39.8%	50.5%	31.3%	45.7%

(注)構成比は、輸入品に課される税・関税、総資本形成に係る消費税を除く金額で算出している。

(資料)愛媛県「平成29年度愛媛県市町民所得統計」

## ③ 市町内総生産（1人当たり）

図表VI-9 1人当たり市町内総生産の推移



(資料)愛媛県「平成24、29年度愛媛県市町民所得統計」

## (2) 産業別事業所数、従業者数

### ① 産業別事業所数、従業者数(経済センサス)

図表VI-10 産業大分類別事業所数、従業者数(経済センサス・2016年・民営事業所)

[事業所数]

(単位:事業所)

	松山市	伊予市	東温市	久万高原町	松前町	砥部町
総数	21,001	1,503	1,194	486	1,186	840
<b>第1次産業</b>	57	17	11	16	8	5
農業, 林業, 漁業	57	17	11	16	8	5
<b>第2次産業</b>	2,726	322	224	96	271	234
鉱業, 採石業, 砂利採取業	1	-	-	1	-	-
建設業	1,800	184	112	53	151	89
製造業	925	138	112	42	120	145
<b>第3次産業</b>	18,218	1,164	959	373	907	601
電気・ガス・熱供給・水道業	17	3	2	2	-	1
情報通信業	309	1	7	1	5	3
運輸業, 郵便業	488	41	62	10	30	21
卸売業, 小売業	5,516	434	331	136	376	213
金融業, 保険業	502	13	16	6	12	7
不動産業, 物品賃貸業	1,515	69	41	4	37	34
学術研究, 専門・技術サービス業	973	41	24	6	33	30
宿泊業, 飲食サービス業	2,692	114	115	58	95	67
生活関連サービス業, 娯楽業	2,076	137	117	43	111	71
教育, 学習支援業	691	46	46	10	43	27
医療, 福祉	1,811	127	98	35	83	60
複合サービス事業	140	21	11	21	10	11
サービス業(他に分類されないもの)	1,488	117	89	41	72	56

[事業所構成比]

	松山市	伊予市	東温市	久万高原町	松前町	砥部町
総数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
<b>第1次産業</b>	0.3%	1.1%	0.9%	3.3%	0.7%	0.6%
農業, 林業, 漁業	0.3%	1.1%	0.9%	3.3%	0.7%	0.6%
<b>第2次産業</b>	13.0%	21.4%	18.8%	19.8%	22.8%	27.9%
鉱業, 採石業, 砂利採取業	0.0%	-	-	0.2%	-	-
建設業	8.6%	12.2%	9.4%	10.9%	12.7%	10.6%
製造業	4.4%	9.2%	9.4%	8.6%	10.1%	17.3%
<b>第3次産業</b>	86.7%	77.4%	80.3%	76.7%	76.5%	71.5%
電気・ガス・熱供給・水道業	0.1%	0.2%	0.2%	0.4%	-	0.1%
情報通信業	1.5%	0.1%	0.6%	0.2%	0.4%	0.4%
運輸業, 郵便業	2.3%	2.7%	5.2%	2.1%	2.5%	2.5%
卸売業, 小売業	26.3%	28.9%	27.7%	28.0%	31.7%	25.4%
金融業, 保険業	2.4%	0.9%	1.3%	1.2%	1.0%	0.8%
不動産業, 物品賃貸業	7.2%	4.6%	3.4%	0.8%	3.1%	4.0%
学術研究, 専門・技術サービス業	4.6%	2.7%	2.0%	1.2%	2.8%	3.6%
宿泊業, 飲食サービス業	12.8%	7.6%	9.6%	11.9%	8.0%	8.0%
生活関連サービス業, 娯楽業	9.9%	9.1%	9.8%	8.8%	9.4%	8.5%
教育, 学習支援業	3.3%	3.1%	3.9%	2.1%	3.6%	3.2%
医療, 福祉	8.6%	8.4%	8.2%	7.2%	7.0%	7.1%
複合サービス事業	0.7%	1.4%	0.9%	4.3%	0.8%	1.3%
サービス業(他に分類されないもの)	7.1%	7.8%	7.5%	8.4%	6.1%	6.7%

(資料)総務省・経済産業省「平成28年経済センサスー活動調査」

[従業者数]

(単位:人)

	松山市	伊予市	東温市	久万高原町	松前町	砥部町
総数	215,683	12,581	16,324	2,562	13,842	7,649
<b>第1次産業</b>	414	150	268	163	200	30
農業, 林業, 漁業	414	150	268	163	200	30
<b>第2次産業</b>	30,459	4,067	3,669	625	5,101	2,526
鉱業, 採石業, 砂利採取業	5	-	-	20	-	-
建設業	13,142	1,040	537	334	1,094	489
製造業	17,312	3,027	3,132	271	4,007	2,037
<b>第3次産業</b>	184,810	8,364	12,387	1,771	8,541	5,093
電気・ガス・熱供給・水道業	634	36	26	18	-	4
情報通信業	5,898	13	125	1	32	42
運輸業, 郵便業	10,521	741	1,989	62	687	621
卸売業, 小売業	47,247	2,909	2,678	475	3,549	1,833
金融業, 保険業	8,828	165	141	38	120	69
不動産業, 物品賃貸業	5,981	133	151	5	115	116
学術研究, 専門・技術サービス業	5,196	159	55	27	113	108
宿泊業, 飲食サービス業	21,982	685	1,008	206	1,338	517
生活関連サービス業, 娯楽業	10,643	561	682	215	465	187
教育, 学習支援業	9,881	111	1,149	46	215	246
医療, 福祉	35,590	1,949	3,703	479	1,253	986
複合サービス事業	2,578	214	175	101	116	90
サービス業(他に分類されないもの)	19,831	688	505	98	538	274

[従業者構成比]

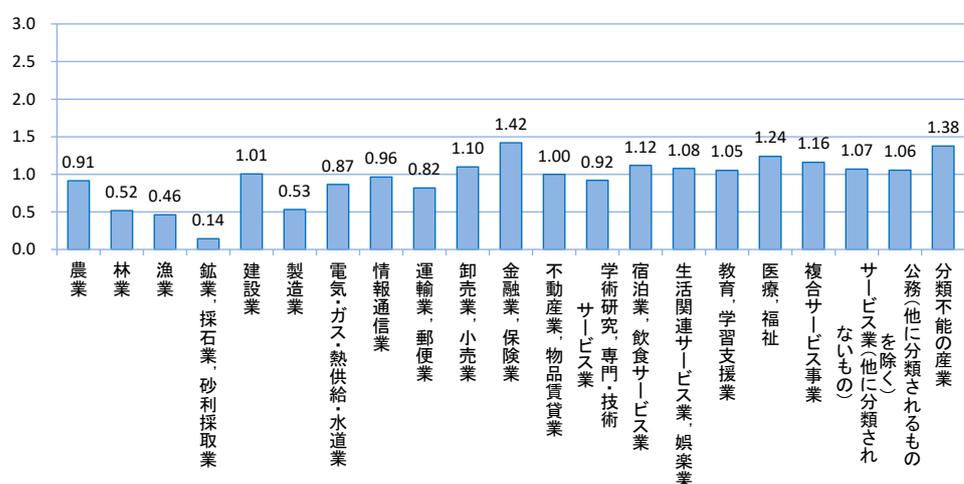
	松山市	伊予市	東温市	久万高原町	松前町	砥部町
総数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
<b>第1次産業</b>	0.2%	1.2%	1.6%	6.4%	1.4%	0.4%
農業, 林業, 漁業	0.2%	1.2%	1.6%	6.4%	1.4%	0.4%
<b>第2次産業</b>	14.1%	32.3%	22.5%	24.4%	36.9%	33.0%
鉱業, 採石業, 砂利採取業	0.0%	-	-	0.8%	-	-
建設業	6.1%	8.3%	3.3%	13.0%	7.9%	6.4%
製造業	8.0%	24.1%	19.2%	10.6%	28.9%	26.6%
<b>第3次産業</b>	85.7%	66.5%	75.9%	69.1%	61.7%	66.6%
電気・ガス・熱供給・水道業	0.3%	0.3%	0.2%	0.7%	-	0.1%
情報通信業	2.7%	0.1%	0.8%	0.0%	0.2%	0.5%
運輸業, 郵便業	4.9%	5.9%	12.2%	2.4%	5.0%	8.1%
卸売業, 小売業	21.9%	23.1%	16.4%	18.5%	25.6%	24.0%
金融業, 保険業	4.1%	1.3%	0.9%	1.5%	0.9%	0.9%
不動産業, 物品賃貸業	2.8%	1.1%	0.9%	0.2%	0.8%	1.5%
学術研究, 専門・技術サービス業	2.4%	1.3%	0.3%	1.1%	0.8%	1.4%
宿泊業, 飲食サービス業	10.2%	5.4%	6.2%	8.0%	9.7%	6.8%
生活関連サービス業, 娯楽業	4.9%	4.5%	4.2%	8.4%	3.4%	2.4%
教育, 学習支援業	4.6%	0.9%	7.0%	1.8%	1.6%	3.2%
医療, 福祉	16.5%	15.5%	22.7%	18.7%	9.1%	12.9%
複合サービス事業	1.2%	1.7%	1.1%	3.9%	0.8%	1.2%
サービス業(他に分類されないもの)	9.2%	5.5%	3.1%	3.8%	3.9%	3.6%

(資料)総務省・経済産業省「平成28年経済センサス活動調査」

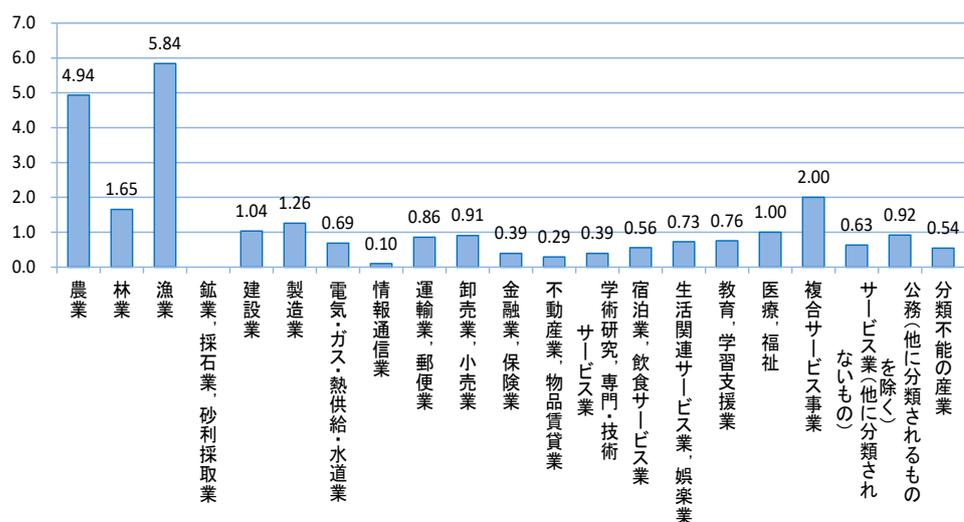
### (3) 産業別特化係数(就業者数ベース)

図表VI-11 産業大分類別特化係数(従業地ベースの就業者数による・2015年)

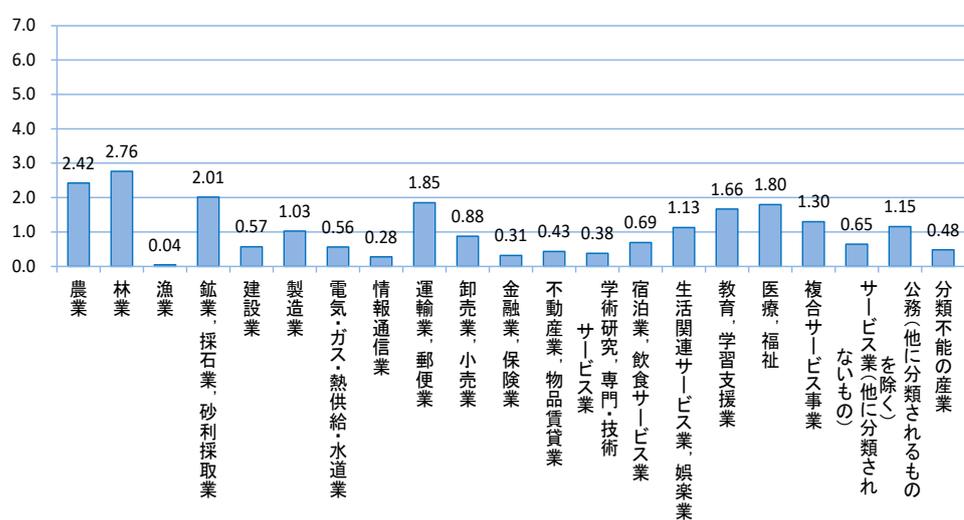
[松山市]



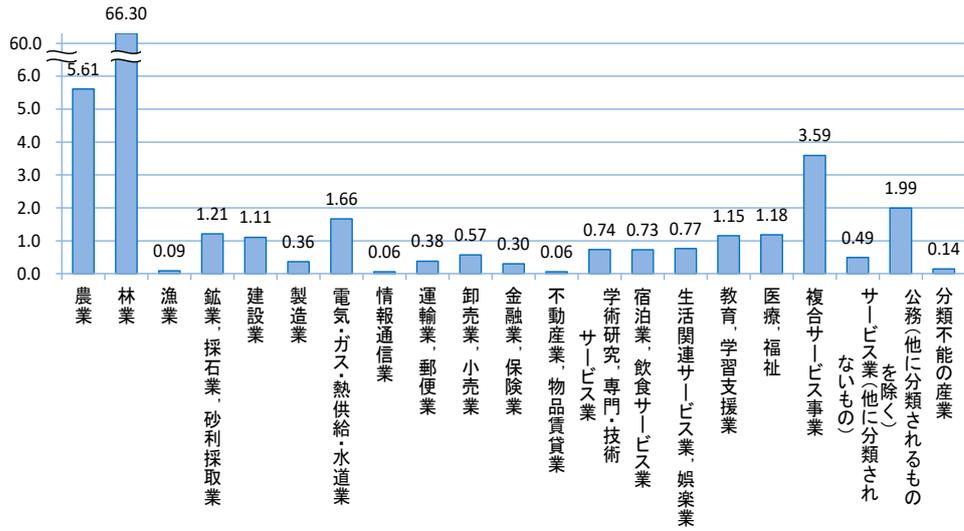
[伊予市]



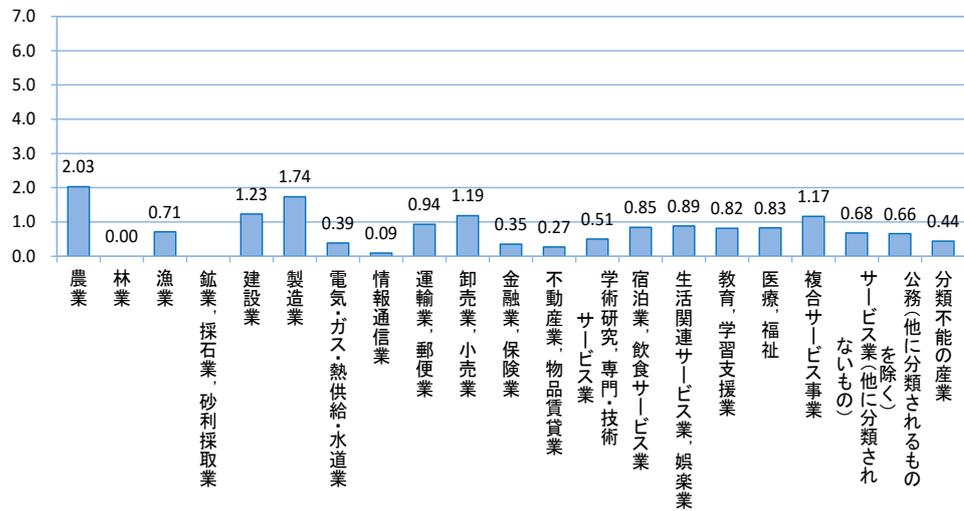
[東温市]



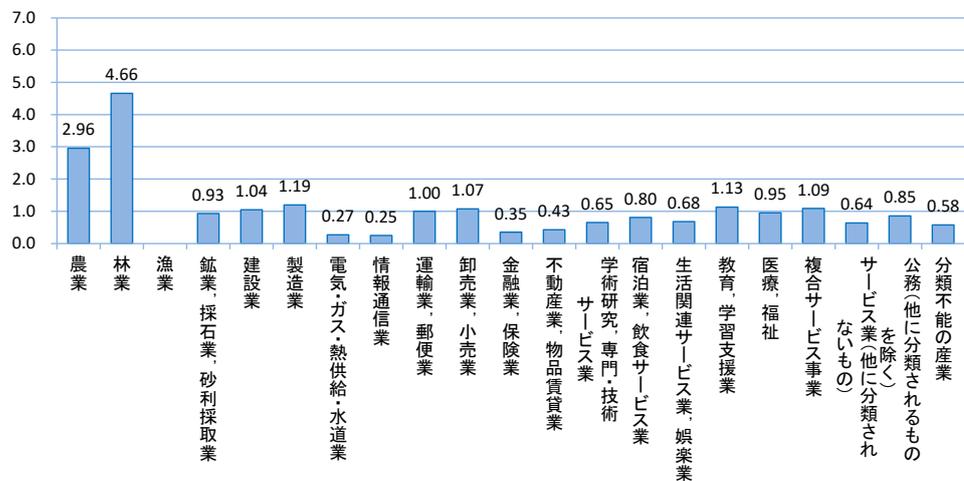
[久万高原町]



[松前町]



[砥部町]



(注)特化係数は、産業別構成比等の全国(全国=1)との比較を表すもの  
(資料)総務省「平成27年国勢調査」

#### (4) 従業員規模別事業所数

図表VI-12 従業員規模別事業所数(経済センサス・2016年・民営事業所)

[実数]

(単位:事業所)

	松山圏域	松山市	伊予市	東温市	久万高原町	松前町	砥部町
総数	26,210	21,001	1,503	1,194	486	1,186	840
1~29人	24,406	19,556	1,419	1,101	469	1,071	790
30~99人	1,373	1,124	64	60	16	74	35
100人以上	276	217	13	23	0	15	8
出向・派遣従業者のみ	155	104	7	10	1	26	7

[構成比]

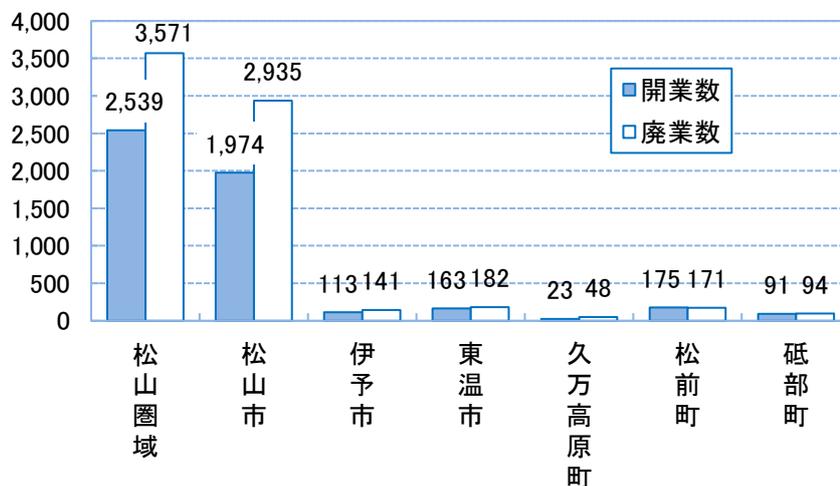
	松山圏域	松山市	伊予市	東温市	久万高原町	松前町	砥部町
総数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
1~29人	93.1%	93.1%	94.4%	92.2%	96.5%	90.3%	94.0%
30~99人	5.2%	5.4%	4.3%	5.0%	3.3%	6.2%	4.2%
100人以上	1.1%	1.0%	0.9%	1.9%	0.0%	1.3%	1.0%
出向・派遣従業者のみ	0.6%	0.5%	0.5%	0.8%	0.2%	2.2%	0.8%

(資料)総務省・経済産業省「平成28年経済センサスー活動調査」

#### (5) 新規開業数・廃業数

図表VI-13 新規開業数・廃業数(2016年)

(事業所)



(資料)総務省・経済産業省「平成28年経済センサスー活動調査」

## (6) 製造業の業種別製造品出荷額等構成比

図表VI-14 製造業の業種別製造品出荷額等

	実数(億円)						構成比					
	松山市	伊予市	東温市	久万高原町	松前町	砥部町	松山市	伊予市	東温市	久万高原町	松前町	砥部町
産業計	3,911.0	706.0	777.8	32.3	1,170.9	159.2	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
食料	546.2	445.8	111.2	x	357.7	94.6	14.0%	63.1%	14.3%	-	30.6%	59.4%
飲料・たばこ	56.1	-	3.1	x	-	x	1.4%	-	0.4%	-	-	-
繊維	169.5	x	-	x	680.6	-	4.3%	-	-	-	58.1%	-
木材	72.0	12.3	x	20.4	x	x	1.8%	1.7%	-	63.2%	-	-
家具	8.4	2.4	x	-	x	x	0.2%	0.3%	-	-	-	-
パルプ	115.3	69.6	-	-	-	x	2.9%	9.9%	-	-	-	-
印刷	47.8	20.0	x	-	-	x	1.2%	2.8%	-	-	-	-
化学	531.9	-	-	-	x	-	13.6%	-	-	-	-	-
石油・石炭	184.7	-	x	-	x	x	4.7%	-	-	-	-	-
プラスチック	56.9	63.1	7.9	-	-	-	1.5%	8.9%	1.0%	-	-	-
ゴム	14.3	x	-	-	-	x	0.4%	-	-	-	-	-
皮革	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
窯業・土石	44.8	x	21.8	8.2	x	13.9	1.1%	-	2.8%	25.4%	-	8.7%
鉄鋼	22.3	x	-	-	x	-	0.6%	-	-	-	-	-
非鉄金属	28.1	-	-	-	-	-	0.7%	-	-	-	-	-
金属	110.7	10.9	x	-	21.4	x	2.8%	1.5%	-	-	1.8%	-
はん用機械	820.6	x	8.8	-	20.2	-	21.0%	-	1.1%	-	1.7%	-
生産用機械	866.7	47.9	232.4	x	43.8	x	22.2%	6.8%	29.9%	-	3.7%	-
業務用機械	x	x	x	-	-	-	-	-	-	-	-	-
電子部品	38.4	x	x	-	-	-	1.0%	-	-	-	-	-
電気機械	87.6	x	x	-	x	x	2.2%	-	-	-	-	-
情報通信機械	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
輸送用機械	62.9	x	x	-	x	-	1.6%	-	-	-	-	-
その他	19.1	x	x	-	x	1.6	0.5%	-	-	-	-	1.0%

(注1)「x」は秘匿

(注2)構成比が10%以上のセルに網掛けをしている。

(資料)経済産業省「平成30(2018)年工業統計調査」

## (7) 産業振興等支援・雇用促進等施設及び機関の状況

図表VI-15 松山圏域に立地する産業振興等支援・雇用促進等施設及び機関

区分	分類	施設・機関名 ※( )内は立地市町名
産業振興・中小企業等支援施設及び機関	工業系 試験研究機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛媛県産業技術研究所(松山市)</li> <li>  －企画管理部(松山市)</li> <li>  －技術開発部(松山市)</li> <li>  －食品産業技術センター(松山市)</li> <li>  －窯業技術センター(砥部町)</li> </ul>
	農林水産業系 試験研究機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛媛県農林水産研究所(松山市)</li> <li>  －企画戦略部(松山市)</li> <li>  －農業研究部(病害虫防除所)(松山市)</li> <li>  －花き研究指導室(東温市)</li> <li>  －果樹研究センター(松山市)</li> <li>  －林業研究センター(久万高原町)</li> <li>  －水産研究センター栽培資源研究所(伊予市)</li> <li>・松山市農業指導センター(松山市)</li> <li>・伊予市農業振興センター(伊予市)</li> </ul>
	各種産業及び 中小企業等 支援機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益財団法人 えひめ産業振興財団(松山市)</li> <li>・松山しごと創造センター(松山市)</li> <li>・愛媛中小企業指導センター(松山市)</li> <li>・ジェトロ&lt;日本貿易振興機構&gt;愛媛(松山市)</li> <li>・公益社団法人 愛媛県産業貿易振興協会(松山市)</li> <li>・愛媛大学産学連携推進センター(松山市)</li> <li>・松山大学ソーシャル・パートナーシップ・オフィス(松山市)</li> <li>・愛媛県産業情報センター(松山市)</li> <li>・愛媛県中小企業再生支援協議会(松山市)</li> <li>・愛媛県経営改善支援センター(松山市)</li> <li>・愛媛県事業引き継ぎ支援センター(松山市)</li> <li>・一般社団法人 愛媛県発明協会(松山市)</li> <li>・各市町商工会議所及び商工会(全市町)</li> </ul>
	展示施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイテムえひめ(松山市)</li> </ul>
	国際物流施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・I-LOT(松山市)</li> <li>・松山港コンテナターミナル(松山市)</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柳谷農産物直売所、中予稚蚕共同飼育所、大川嶺牧場乾燥基地、四国カルスト牧場、パーク堆肥施設、柳谷水産物処理加工施設、久万農業公園、農村活性化センターみかわ(久万高原町)</li> <li>・農業研修センター、林間休憩施設こぶしの家、峡の館、農村工芸体験館、ふるさと研修の宿、第1陶芸作業場、第2、3陶芸作業場、ふるさと生活館、道の駅ひろた「峡の館」(砥部町)</li> </ul>
雇用促進・職業能力開発機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハローワーク松山(松山市)</li> <li>・ハローワークプラザ(松山市)</li> <li>・ジョブカフェ愛work&lt;愛媛県若年者就職支援センター&gt;(松山市)</li> <li>・公益財団法人 えひめ農林業振興機構(松山市)</li> <li>・ポリテクセンター愛媛(松山市)</li> <li>・愛媛県立愛媛中央産業技術専門校松山駐在(松山市)</li> <li>・松山共同職業訓練校(松山市)</li> <li>・愛媛県職業能力開発協会(松山市)</li> <li>・えひめ若者サポートステーション(松山市)</li> <li>・株式会社 いぶき(久万高原町)</li> <li>・各市町シルバー人材センター(全市町)</li> </ul>	

(資料)各市町への照会により作成

### 3. 都市機能・生活関連機能の状況

#### (1) 各施設の立地の状況

図表VI-16 各市町における都市機能・生活関連機能施設

#### 【行政関連施設】

	主な施設
松山市	<p>【総務省】四国総合通信局</p> <p>【法務省】松山地方法務局、高松入国管理局松山出張所、松山学園、松山少年鑑別所 [検察庁]松山地方検察庁</p> <p>【財務省】四国財務局松山財務事務所、神戸税関松山税関支署 [国税庁]松山税務署</p> <p>【厚生労働省】四国厚生支局愛媛事務所、愛媛労働局、松山労働基準監督署 松山公共職業安定所 [日本年金機構]松山西年金事務所、松山東年金事務所</p> <p>【農林水産省】中四国農政局愛媛支局、神戸植物防疫所坂出支所松山出張所 [林野庁]四国森林管理局愛媛森林管理署</p> <p>【国土交通省】四国地方整備局松山河川国道事務所 四国地方整備局松山港湾・空港整備事務所、四国運輸局愛媛運輸支局 [海上保安庁]松山海上保安部 [気象庁]松山地方气象台</p> <p>【防衛省】陸上自衛隊松山駐屯地</p> <p>【環境省】松山自然保護官事務所</p> <p>【裁判所】松山地方裁判所、松山簡易裁判所、松山家庭裁判所</p> <p>【愛媛県】愛媛県本庁舎、中予地方局総合庁舎、消費生活センター 愛媛県男女共同参画センター、動物愛護センター、愛媛県総合保健福祉センター 中予教育事務所、総合教育センター、生涯学習センター えひめ青少年ふれあいセンター、国際交流センター 体験型環境学習センター(えひめエコ・ハウス)、愛媛県生活文化センター えひめ愛顔(えがお)の観光物産館 ジョブカフェ愛work(愛媛県若年者就職支援センター)、テクノプラザ愛媛 アイテムえひめ 愛媛国際貿易センター、FAZ港湾管理事務所、計量検定所 松山発電工水管理事務所、愛媛県土地開発公社、愛媛県研修所</p>
伊予市	<p>【愛媛県】えひめ森林公園、伊予農業指導班</p>
東温市	<p>【法務省】松山刑務所</p> <p>【国土交通省】四国地方整備局四国山地砂防事務所重信川砂防出張所</p> <p>【愛媛県】子ども療育センター、森の交流センター</p>
久万高原町	<p>【愛媛県】久万高原庁舎、中予地方局産業振興課 産地育成室(久万高原駐在)、中予地方局 農村整備第一課(久万高原駐在)、久万高原農業指導班、中予地方局久万高原森林林業課、 久万高原土木事務所、松山発電工水管理事務所面河ダム出張所</p>
松前町	<p>【愛媛県】中予家畜保健衛生所</p>
砥部町	<p>【法務省】松山地方法務局砥部出張所</p>

**【医療機関】**

	主な施設
松山市	<p><b>【三次救急医療機関】</b>愛媛県立中央病院救命救急センター</p> <p><b>【二次救急医療機関】</b></p> <p>[病院群輪番制参加医療機関]松山赤十字病院、松山市民病院、奥島病院、南松山病院、野本記念病院、松山城東病院、済生会松山病院、浦屋医院、平成脳神経外科病院、梶浦病院、松山笠置記念心臓血管病院、渡辺病院、愛媛生協病院、愛媛医療センター</p> <p>なかじま中央病院</p> <p><b>【休日夜間急患センター】</b>松山市急患医療センター</p> <p>松山市医師会健診センター(松山市医師会休日診療所)</p> <p><b>【総合周産期母子医療センター】</b>愛媛県立中央病院</p> <p><b>【地域周産期母子医療センター】</b>松山赤十字病院</p> <p><b>【がん診療連携拠点病院(国指定)】</b>独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター</p> <p>愛媛県立中央病院、松山赤十字病院</p> <p><b>【がん診療連携推進病院(県指定)】</b>松山市民病院、済生会松山病院</p> <p><b>【災害拠点病院】</b>愛媛県立中央病院、松山赤十字病院</p> <p><b>【保健所】</b>松山市保健所(市設置)、中予保健所(県設置)</p> <p><b>【保健センター】</b>松山市保健センター</p>
伊予市	<p><b>【保健センター】</b>伊予市保健センター、中山保健センター、双海保健センター</p>
東温市	<p><b>【三次救急医療機関】</b>愛媛大学医学部附属病院</p> <p><b>【二次救急医療機関】</b></p> <p>[病院群輪番制参加医療機関]愛媛医療センター</p> <p>[救急告示施設]愛媛大学医学部附属病院</p> <p><b>【地域周産期母子医療センター】</b>愛媛大学医学部附属病院</p> <p><b>【がん診療連携拠点病院(国指定)】</b>愛媛大学医学部附属病院</p> <p><b>【災害拠点病院】</b>愛媛大学医学部附属病院</p> <p><b>【保健センター】</b>東温市総合保健福祉センター、川内健康センター</p>
久万高原町	<p><b>【二次救急医療機関】</b></p> <p>[救急告示施設]久万高原町立病院、西本医院</p> <p><b>【保健センター】</b>久万保健センター</p>
松前町	<p><b>【保健センター】</b>松前町保健センター</p>
砥部町	<p><b>【保健センター】</b>砥部町保健センター</p>

## 【高等教育機関】

	主な施設
松山市	<p>【国立大学】愛媛大学</p> <p>【私立大学】聖カタリナ大学、松山大学、松山東雲女子大学</p> <p>【私立短期大学】聖カタリナ大学短期大学部、松山東雲短期大学、松山短期大学</p> <p>【公立専修学校】愛媛県立農業大学校</p> <p>【私立専修学校】愛媛調理製菓専門学校、愛媛コミュニケーションブライダル専門学校            専門学校松山ビジネスカレッジ クリエイティブ校、四国医療技術専門学校            松山看護専門学校、専門学校日産愛媛自動車大学校            松山歯科衛生士専門学校、専門学校松山ビジネスカレッジ ビジネス校            河原電子ビジネス専門学校、河原医療福祉専門学校            大原簿記公務員専門学校 愛媛校、愛媛県美容専門学校            河原デザイン・アート専門学校、河原アイペットワールド専門学校            河原医療大学校、河原ビューティモード専門学校            河原パティシエ・医療・観光専門学校、河原高等専修学校</p>
伊予市	—
東温市	<p>【国立大学】愛媛大学医学部</p> <p>【私立専修学校】愛媛十全医療学院、愛媛医療センター附属看護学校</p>
久万高原町	—
松前町	—
砥部町	【公立大学】愛媛県立医療技術大学

## 【研究機関】

	主な施設
松山市	<p>【公設試験研究機関】愛媛県農林水産研究所農業研究部・果樹研究センター            愛媛県病虫害防除所            愛媛県産業技術研究所技術開発部・食品産業技術センター            愛媛県衛生環境研究所            松山市農業指導センター</p>
伊予市	<p>【公設試験研究機関】愛媛県農林水産研究所水産研究センター栽培資源研究所            伊予市農業振興センター</p>
東温市	【公設試験研究機関】愛媛県農林水産研究所花き研究指導室
久万高原町	【公設試験研究機関】愛媛県農林水産研究所林業研究センター
松前町	【公設試験研究機関】家畜病性鑑定所
砥部町	【公設試験研究機関】愛媛県産業技術研究所窯業技術センター

【文化・スポーツ施設】

	主な施設
松山市	<p>【図書館】愛媛県立図書館、松山市立中央図書館、松山市立三津浜図書館 松山市立北条図書館、松山市立中島図書館</p> <p>【文化・交流施設】[愛媛県]愛媛県美術館、愛媛県埋蔵文化財センター 愛媛県立道後公園(湯築城資料館)、萬翠荘 [松山市]松山市立子規記念博物館、松山市北条ふるさと館、文化財情報館 松山市立埋蔵文化財センター・松山市考古館 松山市立中島歴史民俗資料館 懐古館、坂の上の雲ミュージアム</p> <p>【スポーツ施設】[愛媛県]愛媛県総合運動公園、愛媛県武道館 [松山市]松山中央公園、北条体育館、北条スポーツセンター 法橋運動広場、松山市野外活動センター 河野別府公園(文化の森公園)、松山市総合コミュニティセンター 中島B&amp;G海洋センター、別府市民運動広場 石手川テニスコート、拓川市民運動広場、石手川スポーツパーク 空港東第四公園テニスコート、重信川ソフトボール広場 湯月公園テニスコート</p> <p>【主要コンベンション施設】愛媛県民文化会館、松山市総合コミュニティセンター、 愛媛国際貿易センター(アイテムえひめ)、愛媛県武道館 松山市民会館、松山市立子規記念博物館</p>
伊予市	<p>【図書館】伊予市立図書館(IYO夢みらい館)</p> <p>【スポーツ施設】五色浜グラウンド、長沢グラウンド、永木グラウンド、野中グラウンド しもなだグラウンド、長沢体育館、永木体育館、野中体育館、しもなだ体育館 伊予市民体育館、伊予市民競技場、伊予市民球場、伊予市民テニス場 五色浜プール、ふたみ農林漁業者トレーニングセンター、ウェルビア伊予</p>
東温市	<p>【図書館】東温市立図書館、東温市立図書館川内分館</p> <p>【文化・交流施設】東温市立歴史民俗資料館、東温市立歴史民俗資料館収蔵庫 東温アートヴィレッジセンター、滑川野外活動研修施設「なめがわ清流の森」</p> <p>【スポーツ施設】重信川緑地公園多目的広場・庭球場、東温市総合公園多目的広場・庭球場、 重信川かすみの森公園多目的広場、ツインドーム重信 農林業者トレーニングセンター、川内体育センター、川内運動場</p>
久万高原町	<p>【図書館】久万高原町立図書館</p> <p>【文化・交流施設】面河山岳博物館、久万高原天体観測館、久万美術館、上黒岩遺跡考古館 旧山中家住宅</p> <p>【スポーツ施設】久万公園、B&amp;G久万海洋センター、屋内ゲートボール場「すばく久万」 柳谷さんさんドーム、久万高原ラグビー場 笛ヶ滝公園グラウンド及び多目的球技場、面河体育館、東川健康増進センター 山村広場、旭健康増進センター、西谷健康増進センター、姫鶴平 小村グラウンド、ゆうの木広場</p>
松前町	<p>【図書館】松前町ふるさとライブラリー(松前総合文化センター)</p> <p>【スポーツ施設】松前公園体育館、松前町健康増進センター、松前町国体記念ホッケー公園</p>
砥部町	<p>【図書館】砥部町立図書館(砥部町文化会館)</p> <p>【文化・交流施設】砥部焼伝統産業会館、坂村真民記念館</p> <p>【スポーツ施設】大南町民広場、ひろた町民グラウンド、陶街道ゆとり公園、田ノ浦町民広場 玉谷町民体育館、玉谷町民グラウンド、高市町民体育館、高市町民グラウンド 岩谷ロプール</p>

## 【防災関連施設】

	主な施設
松山市	<p>【消防署・所】松山市消防局・中央消防署、松山市中央消防署城北支署 松山市中央消防署北条支署、松山市東消防署、松山市東消防署城東支署 松山市東消防署湯山救急出張所、松山市南消防署、松山市南消防署東部支署 松山市南消防署久谷救急出張所、松山市西消防署、松山市西消防署西部支署</p> <p>【防災センター】松山市防災センター</p> <p>【その他】愛媛県消防学校、愛媛県防災航空事務所、松山市救急ワークステーション</p>
伊予市	<p>【消防署・所】伊予消防等事務組合消防本部、伊予消防署中山出張所、伊予消防署双海出張所</p>
東温市	<p>【消防署・所】東温市消防署</p> <p>【防災センター】東温市防災センター</p>
久万高原町	<p>【消防署・所】久万高原町消防本部、久万高原町消防本部美川支署 久万高原町消防団本部拠点施設</p> <p>【防災センター】久万高原町防災センター</p>
松前町	<p>【消防署・所】松前消防署</p> <p>【防災センター】松前防災センター</p>
砥部町	<p>【消防署・所】砥部消防署、砥部消防署広田出張所</p>

## 【介護関連施設】

	主な施設
松山市	<p>【特別養護老人ホーム】聖マルチンの家、久谷荘、高縄荘、五明苑、白寿荘、第二権現荘、愛寿荘 姫ヶ浜荘、梅本の里、幸富久荘、道後(福)平成会、ていれぎ荘 りつりん館アドバンス、済生会姫原、安寿荘、和光苑、であい、さや アテナ、松山特別養護老人ホーム、味酒野ていれぎ荘 姫ヶ浜荘(ユニット型)、梅本の里ゆにっと、和光苑新館、あいじゅ祝谷 サンシティ北条</p> <p>【介護老人保健施設】しらすぎ苑、れんげ荘、福角の里、あいじゅ、道後ベテルホーム、にぎたつ苑 高井の里、海辺の郷、りつりん館、ミネルワ、たかのご館、垣生あいじゅ ハピネス椿、合歓の木、福角の里 サテライト栗井</p> <p>【介護療養型医療施設】松山第一病院、松山協和病院、医療法人順風会天山病院、石手内科</p>
伊予市	<p>【特別養護老人ホーム】伊予あいじゅ、なかやま幸梅園、双海夕なぎ荘、森の園</p> <p>【介護老人保健施設】伊予ヶ丘</p> <p>【介護療養型医療施設】伊予診療所</p>
東温市	<p>【特別養護老人ホーム】ガラリヤ荘、重信</p> <p>【介護老人保健施設】長安、希望の館</p> <p>【介護療養型医療施設】池川内科・神経内科、辻井循環器科内科</p>
久万高原町	<p>【特別養護老人ホーム】久万の里、久万の里新館</p> <p>【介護老人保健施設】あけぼの</p> <p>【介護療養型医療施設】国民健康保険久万高原町立病院</p>
松前町	<p>【特別養護老人ホーム】鶴寿荘、玉泉</p> <p>【介護老人保健施設】菜の花</p>
砥部町	<p>【特別養護老人ホーム】砥部オレンジ荘、ひろた</p> <p>【介護老人保健施設】とべ和合苑</p>

### 【高齢者福祉施設】

	主な施設
松山市	愛媛県総合社会福祉会館、松山市総合福祉センター、北条社会福祉センター、松山市ハーモニープラザ、松山市老人憩の家、いきがい交流センターしみず、松山市老人福祉センター、鷹子老人福祉センター、中村老人福祉センター
伊予市	伊予市総合保健福祉センター、中山コミュニティセンター、下灘老人憩の家 じゅらく生きがい活動センター、双海生きがい活動センター、唐川ふれあい館、みたにふれあい館 上吾川ふれあい館
東温市	東温市老人福祉センター
久万高原町	—
松前町	松前老人憩の家、北伊予老人憩の家、岡田老人憩の家
砥部町	老人福祉センター、砥部老人憩いの家、広田老人憩いの家、老人生きがいの家、高齢者生活福祉センター、総合福祉センターはらまち

### 【障害者支援施設】

	主な施設
松山市	道後ゆう、障害者支援施設 ひらい園、障害者支援施設スマイル、アイル 指定障害者支援施設 日野学園、障害者支援施設 北条育成園、障害者支援施設 松山福祉園 いつきの里、障害者支援施設 かなさんどう、みどり園、福祉工房 いだい清風園 障害者支援施設 久谷、みどり園マウントヒルズエステート、指定障害者支援施設日野学園児童部
伊予市	—
東温市	障害者支援施設三恵ホーム、しげのぶ清愛園、しげのぶ清流園
久万高原町	—
松前町	—
砥部町	指定障害者支援施設 希望ヶ丘

【幼児教育・子育て支援施設】

	主な施設
松山市	<p><b>【保育所】</b>松山保育園、高浜保育園、余土保育園、久米保育園、味生保育園、朝美保育園 東雲保育園、港山保育園、八雲保育園、つばき保育園、山越保育園、国津保育園 浅海保育園、粟井保育園、堀江保育園、道後保育園、桑原保育園、小百合保育園 伊谷保育園、生石保育園、浮穴保育園、平井保育園、石井保育園、中須賀保育園 垣生保育園、宮前保育所、小富士保育園、潮見保育園、緑ヶ浜保育園、太山寺保育園 のぞみ保育園、あさひ保育園、高木保育園、愛媛保育園、富久保育園、南保育園、 えひめ乳児保育園、松山中央乳児保育園、済生会松山乳児保育園、 こどものくに保育園、夜間保育所ふくろうの家、慈童保育園、河野保育園、白百合保育園 北条愛児園、ひよこ保育園、未来保育園、虹のそら保育園、未来夢保育園 保育所ぶどうの樹、アユーラキッズルームあむぱむ2</p> <p><b>[小規模保育]</b>すまいる保育園、まちっこ保育園、ひめっこ保育園、なのはな保育園、天山保育園 さかのうえ保育園 溝辺園、ひかり、おひさま、みその、うちみや保育園、かしの木園 アユーラキッズルームあむぱむ、アユーラキッズルームあむぱむ空港通り 三福5starインターナショナル保育園、どれみ保育園、ついでる保育園、和泉南保育園夢 じゃき園HABU、ジャックと豆の木園えだまつ第2、キッズパオあおぞら園 アユーラキッズルームあむぱむ3、ここえみ保育園、夢じゃき園 UKENA 南高井保育園、カメリア保育園</p> <p><b>[事業所内保育]</b>ユーマー保育園たかのこ、きらきらキッズ、ウィルビー バンビーノ、おだんご 医療法人慈孝会福角病院 さくら保育園、まつやま大手町保育所 保育園フォーキッズミネルワ、もりもりキッズ</p> <p><b>[幼保連携型認定こども園]</b>東松山こども園、松山認定こども園 星岡、 コイノニア幼稚園 リベカ清水保育園 学校法人勝愛学園 幼保連携型認定こども園、さくら幼稚園、愛媛幼稚園 法龍寺こども園、愛媛星岡幼稚園、三葉幼稚園、花園幼稚園 愛隣こども園、学校法人大護学園 大護さとやま認定こども園 北梅本幼稚園、社会福祉法人立花会 立花こども園、ゆめの森こども園</p> <p><b>[幼稚園型認定こども園]</b>潮見幼稚園、学校法人綜芸種智院石手学園 石手幼稚園、北条幼稚園 椿幼稚園、若草幼稚園、くたに幼稚園、すみれ幼稚園</p> <p><b>[保育所型認定こども園]</b>もものはなこども園、中島こども園、松山認定こども園 和泉 和泉保育園 はなみずき保育園、コイノニア保育園、福角保育園、子羊園 ジャックと豆の木園、ジャックと豆の木園余戸園、松山隣保館保育園 愛光保育園、城北愛児園</p> <p><b>[地方裁量型認定こども園]</b>ゆうゆう、つくし、アイドル園、コモドまつすえ園</p> <p><b>【幼稚園】</b><b>[国立]</b>愛媛大学教育学部附属幼稚園 <b>[市立]</b>五明幼稚園、石井幼稚園、荏原幼稚園、坂本幼稚園、三津浜幼稚園 <b>[私立]</b>日本基督教団松山番町教会附属親愛幼稚園 学校法人ロザリオ学園 道後聖母幼稚園、久米幼稚園、松山のぞみ幼稚園 梅花幼稚園、学校法人ロザリオ学園 海の星幼稚園、久枝幼稚園、堀江幼稚園 和気幼稚園、太山寺幼稚園、みのり幼稚園、あい幼稚園、勝山幼稚園 持田幼稚園、ロザリオ幼稚園、育英湯山幼稚園、育英幼稚園 松山東雲学園附属幼稚園、慶応幼稚園、愛光幼稚舎、木の実幼稚園 済美幼稚園、番町幼稚園、桃山幼稚園、育英第二幼稚園 聖カタリナ大学短期大学部附属幼稚園</p> <p><b>【児童館】</b>えひめこどもの城、中央児童センター、味生児童館、久米児童館、新玉児童館 久枝児童館、畑寺児童館、南部児童センター、北条児童センター</p>

	主な施設
伊予市	<p>【保育所】おおひら保育所、なかむら保育所、ぐんちゅう保育所、うえの保育所、上灘保育所 下灘保育所、とりのきくじら保育園、さくら幼児園</p> <p>[小規模保育]伊予ペンぎん小規模保育園、まんぼう小規模保育園</p> <p>[認定こども園]中山認定こども園、伊予くじら認定こども園、みかんこども園、いよ未来こども園 天使幼稚園</p> <p>【幼稚園】北山崎幼稚園、伊予幼稚園</p> <p>【児童館】伊予市児童センター「みんくる」</p>
東温市	<p>【保育所】双葉保育所、南吉井保育所、南吉井第二保育所、拝志保育所、川内保育園、林保育所</p> <p>[小規模保育]キッズパオ東温 あおぞら園、よつば保育園、きり園、ささゆり保育園</p> <p>[認定こども園]ひかり認定こども園</p> <p>【幼稚園】[公立]重信幼稚園、北吉井幼稚園、川上幼稚園、東谷幼稚園、西谷幼稚園</p> <p>【児童館】いわがらこども館、さくらこども館、よしいのこども館</p>
久万高原町	<p>【保育所】[認定こども園]久万こども園</p> <p>【幼稚園】明神幼稚園、久万幼稚園、畑野川幼稚園、直瀬幼稚園、父二峰幼稚園、おもご幼稚園 美川幼稚園、仕七川幼稚園、柳谷幼稚園</p> <p>【児童館】Niko Niko館</p>
松前町	<p>【保育所】松前ひまわり保育所、黒田保育所、小富士保育所、白鶴保育所</p> <p>【幼稚園】松前幼稚園、古城幼稚園</p> <p>【児童館】松前町児童館</p>
砥部町	<p>【保育所】宮内保育所、麻生保育所</p> <p>[幼保連携型認定こども園]砥部こども園、私立愛育幼稚園</p> <p>【幼稚園】宮内幼稚園、麻生幼稚園</p> <p>【児童館】砥部児童館、麻生児童館</p>

(資料)各市町への照会により作成

#### 4. 圏域における主な連携の状況

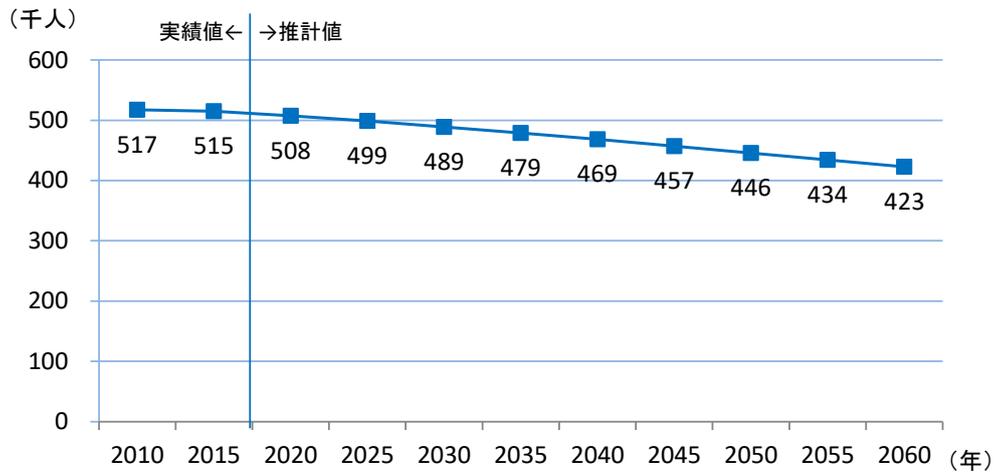
図表VI-17 連携状況一覧

		松山市	伊予市	東温市	久万高原町	松前町	砥部町
産業 振興	松山市，東温市共有山林組合	●		●			
	松山圏域中小企業販路開拓市実行委員会	●	●	●	●	●	●
	広域観光連携推進協議会	●		●			●
	中予森林管理推進センター（松山市・伊予市・東温市・砥部町・松山流域森林組合・伊予森林組合・砥部町森林組合）	●	●	●			●
国土 保全	重信川・石手川治水同盟会	●	●	●		●	●
厚生 福祉	松山養護老人ホーム事務組合	●	●	●			
	伊予市・伊予郡養護老人ホーム組合		●			●	●
	松山広域福祉施設事務組合（※6市町を含む県下20市町）	●	●	●	●	●	●
	愛媛県後期高齢者医療広域連合（※6市町を含む県下20市町）	●	●	●	●	●	●
	愛媛県民生児童委員協議会（※6市町を含む県下20市町）	●	●	●	●	●	●
	手話奉仕員養成研修	●	●	●	●	●	
環境 衛生	伊予地区ごみ処理施設管理組合		●			●	
	伊予市松前町共立衛生組合（※伊予市一部）		●			●	
	大洲・喜多衛生事務組合（※伊予市一部、砥部町一部）		●				●
	松山衛生事務組合（※砥部町一部）	●		●			●
	肱川流域清流保全推進協議会（※ほか大洲市、西予市、内子町、国土交通省、愛媛県）		●				●
	松山圏域連携浄化槽普及促進協議会	●	●	●	●	●	●
	松山ブロックごみ処理広域化検討協議会（※ほか愛媛県）	●	●	●	●	●	●
砥部町と松山市との汚水処理に係る事務の委託に関する協定	●					●	
教育	中予地区青少年育成補導連絡協議会	●	●	●	●	●	●
	中予地域人権啓発活動ネットワーク協議会（※ほか市町）	●	●	●	●	●	●
消防 防災	伊予消防等事務組合		●			●	●
	渇水等緊急時における相互応援協定	●	●	●		●	●
	中予地区広域消防相互応援協定（※伊予消防等事務組合）	●	●	●	●	●	●
医療	松山医療圏救急医療市町連絡会	●	●	●	●	●	●
その 他	伊予市外二町共有物組合		●			●	●
	愛媛県地方税滞納整理機構（※6市町を含む県下20市町）	●	●	●	●	●	●
	松山圏域連携協議会	●	●	●	●	●	●
	松山市SDGs推進協議会	●	●	●	●	●	●

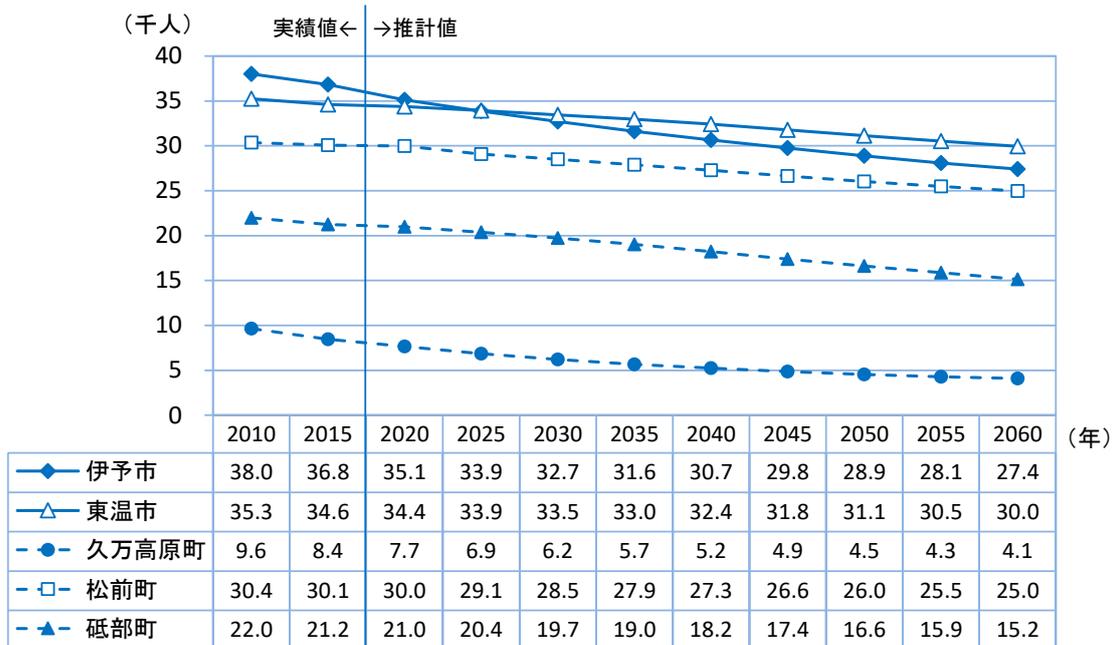
## 5. 各市町の人口ビジョン

図表VI-18 人口ビジョンにおける人口将来展望

[松山市]



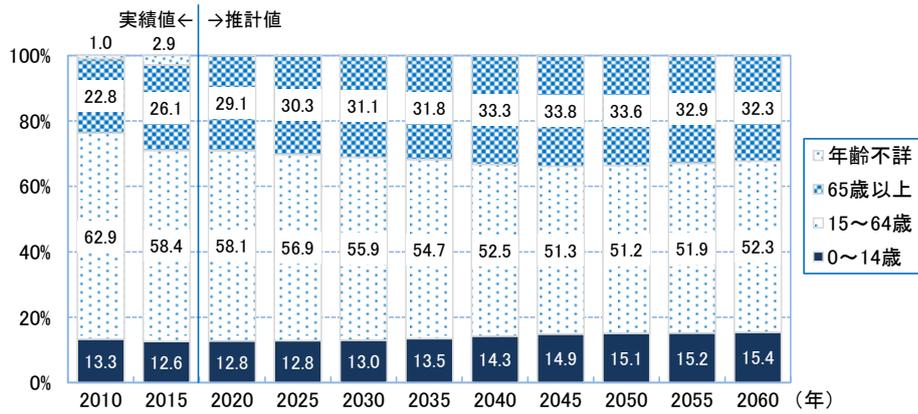
[その他の市町]



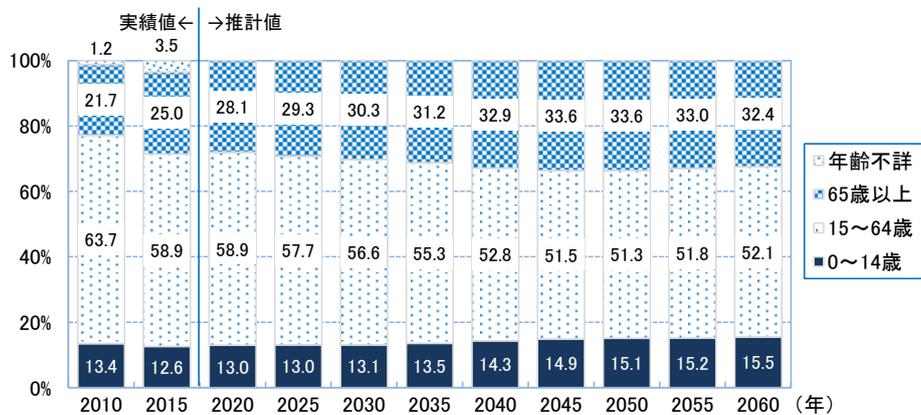
(資料)総務省「国勢調査」、各市町人口ビジョン

図表VI-19 人口ビジョンにおける人口将来展望の年齢3区分別構成比

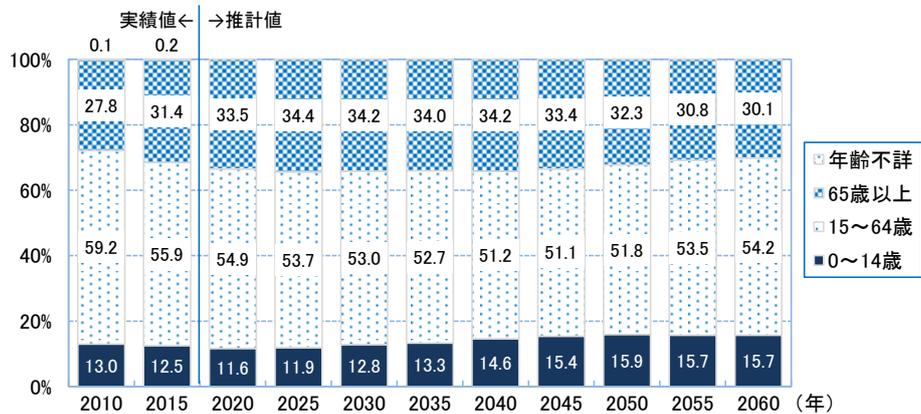
[松山圏域]



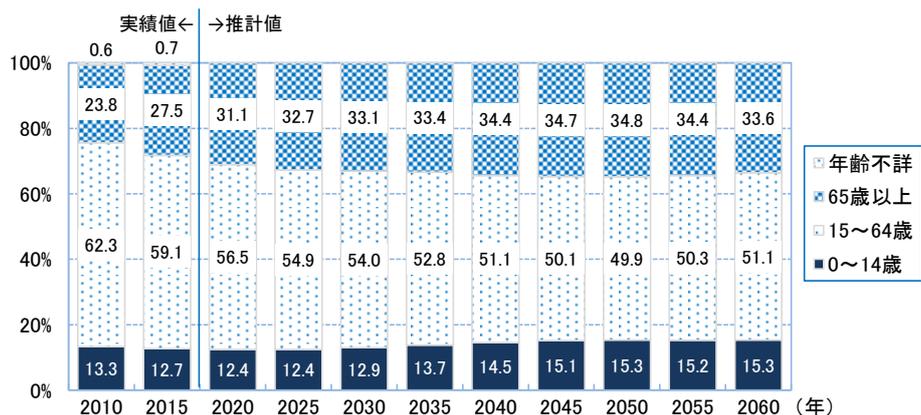
[松山市]



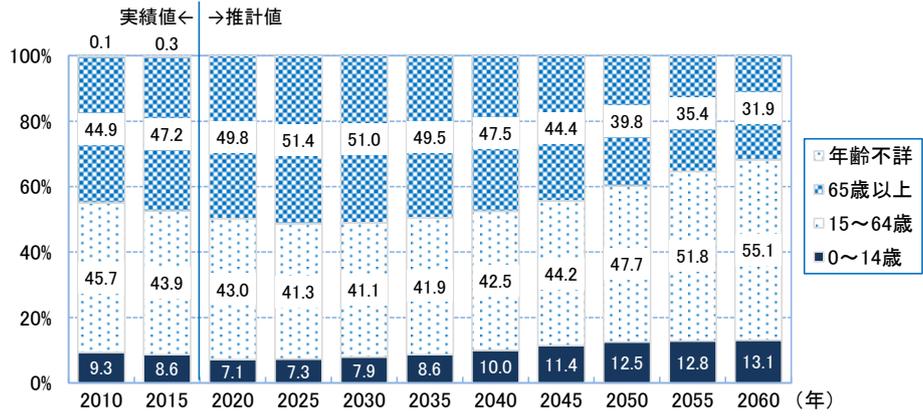
[伊予市]



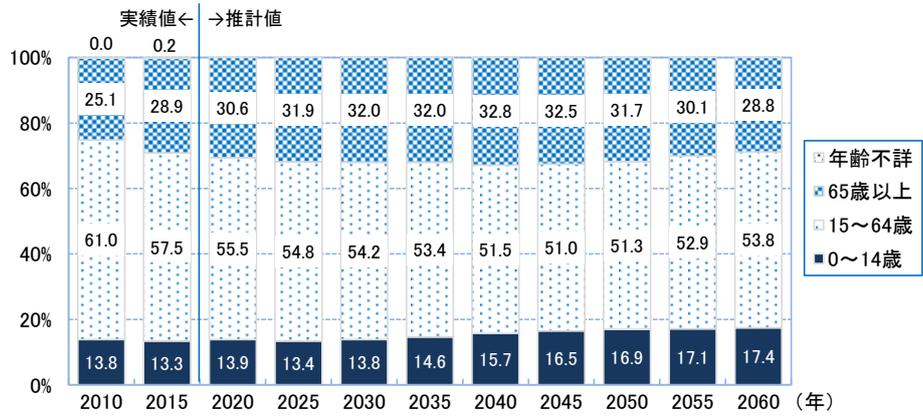
[東温市]



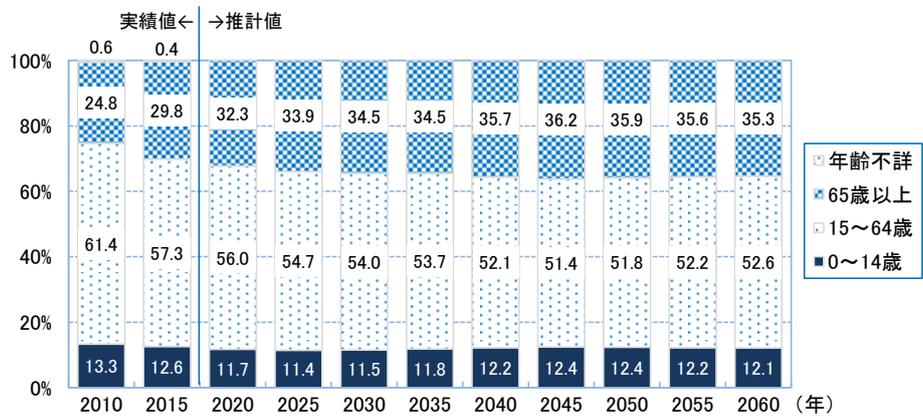
[久万高原町]



[松前町]



[砥部町]



(資料)総務省「国勢調査」、各市町人口ビジョン

## 6. 各市町の総合戦略基本目標

図表VI-20 各市町の総合戦略における基本目標

	地域経済活性化	移住・定住支援	少子化対策	地域づくり
松山市	魅力ある仕事と職場をつくる(地域経済活性化)	松山への定着と新しい人の流れをつくる(移住定住対策)	つながる未来を応援する(少子化対策)	住み続けたいまちをつくる(持続可能なまちづくり)
伊予市	産業振興都市の創造	市民が主役のまちづくり	次代を担う子どもたちの育成支援	快適空間都市の創造
東温市	誰もが安心して働ける、多様で魅力的なしごとの場をつくる	住みよさを全国に広くアピールし、新しい人の流れをつくる	出会い、子どもを産み、育てていく希望がかなうまちをつくる	安心して生涯くらす、夢の持てる地域社会をつくる
久万高原町	本町の特性を活かした産業振興と雇用創出	新しい人の流れづくり	結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	いつまでも元気で暮らせる地域のつながりづくり
松前町	産業振興、産業連携による活発で活力ある松前町づくり	安全・安心で賑わいあふれる元気な松前町づくり(再掲)	子育て世代に、住む場所として選ばれる松前町づくり	安全・安心で賑わいあふれる元気な松前町づくり
砥部町	住みつけたいアートタウン	選ばれるベッドタウン	子育て世代のモデルタウン	住みつけたいアートタウン(再掲)



## 【 松山圏域ロゴマーク 】



松山圏域連携中枢都市圏  
Matsuyama wide Area Partnership

圏域内6市町の市花・町花をリボンで結束したデザインにより、圏域の一体感を可視化するとともに更なる連携の機運を醸成し、パートナーシップの深化・高度化を図ることを表現している。

(中央上段から時計周りに)

松前町：ひまわり

砥部町：梅

久万高原町：ささゆり

松山市：椿

伊予市：菜の花

東温市：桜



また、ロゴマークの色はSDGsを表す17色で構成されている。

とりわけ、リボンの部分はSDGsのゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」の色で表現され、本圏域を構成する市町がパートナーシップで結束し、ともに進んでいく決意を示している。



松山圏域連携中枢都市圏  
Matsuyama wide Area Partnership

第2期まつやま圏域未来共創ビジョン

発行：松山圏域連携協議会

編集：松山圏域連携協議会事務局

(松山市総合政策部企画戦略課)

〒790-8571 松山市二番町四丁目7番地2

TEL：089-948-6943

E-mail：jinkotaisaku@city.matsuyama.ehime.jp